

部 蘇津國
七 郡

一金貳千百拾壹圓五拾六錢壹厘

元 請 高

內 現金貳百三拾圓六拾貳錢

前年度ヨリ越高

內 譯

金千七百三拾三圓九拾九錢五厘

內 金三拾五圓貳拾七錢七厘

金千六百九拾八圓七拾壹錢八厘

金三拾九圓三拾四錢三厘

內

金三百三拾八圓貳拾貳錢三厘

金百八拾貳圓貳拾貳錢三厘

一金百八拾貳圓貳拾貳錢三厘

一金九百貳拾九圓三拾三錢八厘

但公債証書買入代
支 拂 高
現 金 高
但公債証書利子
公債証書代價
現 金 高
収 入 高
現 金 配 當 高
公債証書代價
金

內 現金四拾八圓三拾九錢七厘
公債証書代價千八百八拾圓九拾四錢壹厘

但十八年度へ越高

地方税金誤納還付及更正手續
及地方税不納ノ儘逃亡失踪
等ノ者ニ係ル稟申方ノ達

現行

●明治十八年一月十五日乙第五號郡區役所戸長役場へ達
地方税金誤納還付及更正手續左ノ通相定メ來十八年度ヨリ施行候條此旨相達候事

地方税金誤納還付及更正手續

第一條 地方税金納入ノ後誤納アリテ還付ヲ要スルキハ戸長ニ於テ第一號ノ如ク請求
書ヲ製シ郡區役所ニ差出スヘシ

第二條 郡區長ハ戸長ヨリ誤納金還付ノ請求ヲ得ルキハ審査ノ上其年度ニ屬スル徵稅
金ノ内ヨリ下戻シ第二號ノ如ク報告書ヲ製シ府縣ニ差出スヘシ其年度決算後又ハ皆
納メシテ還付スヘシ税金ナキハ第三號ノ如ク下戻シ方ヲ府廳ニ請求スヘシ

△地方税○地方税金誤納還付及更正手續

第三條 戸長ハ既納税金中ニ税目又ハ納期違等ノ誤謬アルキハ第四號ノ如ク報告書ヲ製シ郡區役所ニ差出スベシ

第四條 郡區長ハ戸長ヨリ前條ノ報告書ヲ得ルキハ審査ノ上諸帳簿ヲ更正スル者トス
第五條 郡區長ハ府廳ヘ既納ノ税金中ニ税目ノ誤謬アルキハ第五號ノ如ク報告書ヲ製シ府廳ニ差出スベシ

第一號 (用紙ハ半紙野正副二通)

地方税誤納金還付請求書

一金何程

但何年度何期分何税何月何日上納金何程ノ内本行ノ金額何村(町)又ハ何ノ某分

何々(誤納ノ事由ヲ詳記ス)ニヨリ誤納

一金何程

但何々

(以下幾名アルモ順次記載ス)

合計金何程

右之通金額誤納ニ付御還付相成度此段及上申候也

何郡(區)町(村)外何々町(村)

年月日 戸長 何々ノ誰印

第二號 (用紙ハ美濃野)

(以下幾名アルモ順次記載ス)

一金何程

但何年第何期又ハ前後(半期)何税誤納ニ付何月何日何(郡)區何町(村)(或ハ何ノ

誰)分該村(町)戸長何ノ某へ還付

一金何程

但何々

(以下幾名アルモ順次記載ス)

合計金何程

右之金額誤納ニ付致還付候此段及報告候也

年月日

大坂府知事氏名殿

何郡(區)長 氏 名 印

第三號 (用紙ハ美濃野正副二通)

地方税誤納金還付請求書

一金何程

但何年度第何期又ハ前後(半期)分何税何々(誤納ノ事由ヲ詳記ス)ニヨリ何郡(區)

△地方税〇地方税収出精算書

町(村)何ノ某或ハ戶長何ノ某誤納
一金何程

但何々

(以下幾名アルモ順次記載スヘシ)
合計金何程

右之金額誤納ニ付御還付相成度此段及上申候也

年月日

大坂府知事氏名殿

何郡(區)長 氏

名印

第四號 (用紙ハ半紙野)

地方稅々目納期誤謬更正報告書

一金何程

但何年度何期分何稅何月何日上納金何程ノ内何町(村)分誤謬ニ付該期何稅又ハ
何期分)ニ更正スヘキ分

一金何程

但何々

(以下幾名アルモ順次記載スヘシ)

合計金何程

右之通誤謬有之候間更正相成度此段及報告候也

年月日

何郡(區)長氏名殿

何郡(區)町(村)外何々町(村)戶長何ノ某印

第五號 (用紙ハ美濃紙)

地方稅々目誤謬更正報告書

一金何程

但何月日納第何號(府縣領収證書ノ番號)何年度何稅金(或ハ何程ノ内)誤謬ニ付
何稅ニ更正スヘキ分

一金何程

但何々

(以下幾筆アルモ順次記載スヘシ)

合計金何程

右之通誤謬有之候間更正相成度此段及報告候也

年月日

何郡(區)戶長 氏

名印

大阪府知事氏名殿

●明治十八年八月二十一日乙第百拾五號郡區役所へ達

地方稅不納ノ儘逃亡失踪又ハ納期前旅行等ニテ納期ニ至リ尙歸籍セズ財產所有不分明
ニテ公賣處分ヲナシ能ハサルモノハ本年度ヨリ其年度後五日以内ニ別紙書式ニ準シ勘

現行

△地方稅○地方稅収出精算書

定除却ノ儀稟申スヘシ此旨相違候事
明治何年度地方税金納者財産所在不分明ニ付勘定除却方稟申書

課	何	等	商	業	何	等	工	業	計	何	等	料	理	屋	何	期	マ	テ	リ	失	踪	金	何	程	何	郡	區	町	村	番	地	姓	名		
																																		不	納
營業	何	等	商	業	何	等	工	業	計	何	等	料	理	屋	何	期	マ	テ	リ	失	踪	金	何	程	何	郡	區	町	村	番	地	姓	名		
雜	何	等	相	撲	何	等	能	優	何	等	二	人	乘	人	力	車	何	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	
種	何	々	々	々	何	々	々	々	何	々	々	々	々	々	何	々	々	々	々	何	々	々	々	々	何	々	々	々	々	々	々	々	々	々	
稅	何	々	々	々	何	々	々	々	何	々	々	々	々	々	何	々	々	々	々	何	々	々	々	何	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々
合	何	々	々	々	何	々	々	々	何	々	々	々	々	々	何	々	々	々	々	何	々	々	々	何	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々

右ハ書面之通相違無之候條一旦勘定除却相成度此段及稟申候也
年月日 大坂府知事某殿 郡區長 氏 名印

第十八號
第五十號
現行
第九十八號
第七號
參看

區町村費收納順序

●明治十八年二月廿四日乙第廿九號郡區役所戶長役場へ達
區町村費收納順序別紙ノ通相定メ來ル七月一日ヨリ施行候條此旨相違候事
但本文ニ關ズル諸帳簿ハ本年(二月)當府乙第二十七號達地方稅收入簿ノ様式ニ準シ
製スヘシ

(別紙)

區町村費收納順序

第一條 區町村費ハ區町村會若クハ聯合區町村會水利土功會ニ於テ評決シタル徵収方法(府知事ノ指揮若クハ認可ヲ得テ施行スルモノ)及郡區長戶長ニ於テ豫算ヲ設ケ徵収スルモノハ其方法)ニ據リ之ヲ收納スルモノトス

第二條 郡區長ニ於テ收支ヲ管理スルモノハ其納額ヲ各町村納額元帳ニ登記シ納期限三十日以前ニ第一號ノ如ク其納金額及納期限等ヲ戶長ニ達スルモノトス

第三條 戶長ハ第二條ノ金額及ヒ其役場ニ於テ收支ヲ管理スル金額等ヲ記入セシ一人

△地方私○區町村費收納順序

別帳ニ據リ第二號ノ如ク収納切符ヲ製シ納期限十五日以前納人ニ達シ之ヲ徵收シ第
二條ノ金額ハ第三號ノ納證書ヲ添ヘ郡區役所ニ上納シ其他ノ金額ハ該役場ニ保管シ
實費ニ充ツルモノトス

第四條 郡區長ハ戶長ヨリ上納セシ金額ヲ納額元帳ニ照シ(皆納ナレハ其ノ月日内納
ナレハ其ノ金額及ヒ月日)之レヲ元帳ニ記入シ而シテ郡區長名ノ領収證書ヲ附與ス
ル者トス

第五條 戶長ハ怠納者アルキハ第四號報告書ヲ製シ直チニ郡區役所ヘ差出スヘシ

第六條 郡區長ハ戶長ヨリ怠納者ノ報告ヲ受ケタルキハ成規ニ照シ納期限後六十日内
ニ處分スルモノトス

第一號 (用紙ハ美濃野)

何郡(區)

何町(村)

何年度區費(或ハ聯合町村費)

一金	内
金	地價割
金	反別割
金	戸數割

金

(以下幾町村アルモ順次記入ス)

右金額來ル何月何日限リ當役所ニ可相納候也

年月日

某町村外何ヶ町村

戶長氏名殿

第二號 (用紙ハ仙花ノ類ヲ用ユヘシ)

何郡(區)町村

何ノ誰

何年度第何期又ハ何月分

一金何程

一金

區町村費地價割

一金

同戸數割

一金

同營業割

戶長官印ヲ以テ收入元帳ト割印ス

同何々割

△地方税〇區町村費収納順序

割 合計金
印 何月何日収入
官印 戸長

右何年何月何日限り當役場へ可相納候事

第三號 (用紙ハ半紙野)

何町村外何々町村
戸長役場印

一金 内 (用紙ハ半紙野)

何郡(區)町村
何年度區費(又ハ聯合町村費)

地價割
戻別割
戸數割
營業割
備本割
ニケ町村以上同時ニ収ムルキハ之ニ倣ヒ順次記ス尤末尾ニ合計ヲ付ス

右相納候也

年 某月 某日 右戸長 氏 名 印

第四號 (用紙ハ半紙野)

何年度區町村費意納者報告書

一金何程 内 何郡(區)町村何番地

金 内 何々割
金 何々割
何々割

但第何期又ハ何月分何々ニ付意納ノ事由(意納)

一金何程 内 同村(町)何番地

金 内 何々割
金 何々割
但同上

△地方税〇區町村費収納順序

(以下幾名アルモ順次記入スヘシ)

右意納者取調候處書面ノ通ニ有之候條此段及報告候也

年月日

右戸長 何

某印

郡區長氏名殿

●明治十八年四月廿七日乙第五十七號郡區役所戸長役場へ達
當府本年乙第三號及乙第廿九號達第四條中元帳ニ照シテ下割註(皆納ナレハ其月日內
納ナレハ其金額及月日)ヲ刪除候條此旨相達候事

區町村費收納順序ニ屬スル諸帳簿様式

及區町村費豫算議案精算報告書并區町村費意納者處分濟報告書式

現行

●明治十八年七月十三日乙第九十八號郡區役所戸長役場へ達

本年三月當府乙第二十九號達區町村費收納順序ニ屬スル諸帳簿様式別冊ノ通相定メ候條此旨相達候事 其後別冊ニ依テ

但本年二月當府乙第二十九號達但書ハ刪除ス

(別冊)別紙

(第一書式)

明治何年度(區聯合區村)費收入日計簿

何郡(區)役所

何郡(區)

何町(村)

一金何程	地價割
一金何程	反別割
一金何程	戸數割
一金何程	營業割
合計金何程	何々割

〔一金何程〕註

但何月何日收入

第一期分

(〇ハ朱書)

△地方稅○區町村費收納順序ニ屬スル諸帳簿様式云々

○郡區長官印ヲ以テ
領收證ト制印ス

一 金何程

○一期中内納チ爲ストキハ左ノ例ニ據ル

内

○前ニ全シ

〔金何程。前ニ同シ〕

○前ニ同シ

〔金何程。前ニ同シ〕

(以下何期アルモ前書ノ例ニ由ル)

○聯合町村幾許アルモ此例ニ據リ毎町村ヲ區分シ記入スヘシ

一金何程

一金何程

一金何程

一金何程

一金何程

合計金何程

第二期份

何月何日収入

何月何日収入

地 價 割

反 別 割

戸 數 割

營 業 割

何 々 割

○郡區長檢印以下同シ

金何程。前ニ同シ(以下同シ)

金何程。前ニ同シ

通計金何程。前ニ同シ

通計金何程。前ニ同シ

(第二書式)

明治何年度區町村費收入日計簿

何郡(區)町(村)(外何ヶ町村)

戸長 役場

何郡(區)町(村)

何 々 誰

一金何程

一金何程

一金何程

地 價 割
反 別 割
戸 數 割

△地方税○區町村費収納順序ニ屬スル諸帳簿様式云々

一金何程
一金何程
合計金何程

内

〔一金何程〕[●]主印

但何月何日収入

營業割
何割
第一期分

○収納ノ節其切符ト
戸長官印ヲ以テ割
印ス

第二期分

○〔一期中内納ヲ爲スルハ左ノ例ニ據ル〕
〔二期分内〕

○前二同
〔金何程〕[●]前二同

何月何日収入

○前二同
〔金何程〕[●]前二同

何月何日収入

○戸長ニ部内若クハ一町村内幾百名アルモ此例ニ據リ一名毎共區別シ記入スヘシ
何(町村)(何町村)外何ヶ町村(合計)

一金何程

一金何程

一金何程

一金何程

一金何程

合計金何程

内

○戸長檢印以下同

金何程[●]主印(以下同)

何ノ某外何名分
何月何日収入高

金何程[●]

何月何日収入高

通計金何程[●]

(皆納ニ至ルマテ日々記入通計ヲ付スヘシ)

●明治十八年七月十七日乙第百二號戸長役場へ達
本年二月二日付當府無號達區町村費豫算議案并精算報告書式へ尙別紙ノ通追加候條此旨相違候事

△地方税○區町村費収納順序ニ屬スル諸帳簿様式并云々

現行
本年二月
二日無
二日無
二日無
限ニ非
限ニ非
限ニ非

評決シ其賦課方法ハ各區町村會ノ評決ニ任ス
 議決書式
 町村會ニ開シ能ハサル町村ト連帶アルトキノ支出議按書式

右各町村ノ負擔額ハ每(町村)ノ地價反別戸數等ヲ自安トシ之ヲ定ムルモノトス又教育費ハ學齡兒童員數道路橋梁費ハ里程ノ類ヲ自安トシ各町村ノ負擔額ヲ定ムルヲ得

明治何年度何(郡區)何(町村)外何々町村連帶費支出豫算議按

一金

内譯

職務取扱費
 建築修繕費
 會議費
 雜費
 土木費
 造(田路)費
 橋(金梁)費
 備(金々)費

町村會ヲ開設シ能ハサル町村ト連帶アルトキノ支出議按書式

書式ノ五

合計金

○外ニ町村會ヲ開設シ能ハサル何(町村)外何々町村(負擔ノ分)

○一金 戸長役場費

○一金 會議費

○一金 土木費

合計金

總計金

明治何年度何(郡區)何(町村)外何々町村連帶費收入豫算議按

一金

地價割

但本年地價總高何程地價金百円ニ付何程

反別割

但本年總反別何程當反歩ニ付何程

戸數割

但本年何月開總戸數何程

營業割

但云々

△地方私〇區町村費収納順序ニ屬スル諸帳簿様式并云々

下二百五十二

○ハ朱書
 ○外ニ町村會ヲ開設シ能ハサル何町村(外何ヶ町村)負擔ノ分
 地價 但書前ニ同シ
 反別 但書前ニ同シ
 戸數 但書前ニ同シ
 ○合計金
 ○合計金
 總計金

現行

●明治十八年四月廿三日乙第四十九號郡區役所へ達
 區町村費怠納處分濟左ノ書式ニ依リ前半期分ハ毎年十月廿二日后半期分ハ翌年四月卅日限リ報告スヘシ

明治何年度(前後)半期區町村費怠納處分濟報告書

科目	不納金額	公賣物件	同上代金	區町村公賣入費	過剰下戻金	不納人員
地價割	何品何個					
反別割	何々ハハ					

現行

●明治十八年九月十四日乙第二百二十九號郡區役所へ達
 明治十四年當府乙第五百五十五號達區町村協議費取調書式別紙ノ通改正候條十七年度分ヨリ此書式ニ據リ取調毎年十一月十五日限リ差出スヘシ此旨相達候事 但舊會法ニヨリ評決セリ區町村協議費ノ内此科目費目ニ編入シ難キモノアルトキハ収入支出トモ書式ニ未尾ニ記入スヘシ

區町村費取調書

右及報告候也

年月日

大坂府知事氏名殿

郡(區)長 人氏 名印

營業割

戸數割(戸間割)

計

△地方税○區町村費取調書

入金ノ部	
一金若干	部内幾區(幾町村)區町村費決算高
金	内譯
金	土地價割又反別割
金	地價割
金	反別割
金	營業割
金	戸數割
金	戸間割(戸數割ヲ以テ戸間割トナシタルトキ)
金	現品代價
金	人夫賃錢
金	雑収入
金	(前々年度)ヨリ繰越金
金	地方税補助金
金	寄付金
金	何費ニ屬スル共有金

支出ノ部	
一金若干	内譯
金	戸長役場費
金	會費
金	土木費
金	區町村會ニテ決議ノ分
金	水利土功會ニテ決議ノ分
金	教育費
金	區町村會ニテ決議ノ分
金	學區會ニテ決議ノ分
金	衛生費
金	救助費
金	災害豫防費
金	勸業費

金 何々費
(特別ニ許可ヲ得タルモノハ以下順次之ニ依ヒ列記スヘシ)
尤豫備費ハ此限ニアラス
収支差引
若干

右ハ明治何年度部内區町村費取調進達候也

残高(或ハ不足)

年 月 日 郡區長 姓 名 印
大坂府知事某殿

郡區役所記帳手續

●明治十八年二月二十三日乙第二十七號郡區役所戸長役場へ達
本年(一月)當府乙第三號達地方税金收納順序ニ關スル諸帳簿様式別冊ノ通相定候條此
旨相達候事

現行
第十八
年乙
第五
百七
號達
卷

(別冊) 郡區役所記帳手續

第一條 凡ソ地方税金ハ第一號ヨリ第六號迄ノ式ノ如ク帳簿ヲ製シ其種類ニヨリ納額

及ヒ其増減領収高等ヲ漸次記入シ各税ノ納否ヲ詳明ナラシムルモノトス
第二條 郡區長ハ各營業者ヨリ差出シタル收入金及ヒ等級調書等ニ基キ第一號帳簿ニ
ヨリ鑑札番號ヲ定メ(船車税ハ國税元帳ヨリ)第二號臺帳ニ移シ而シテ納期ニ從ヒ營業
税雜種税中年税ノモノハ第二號臺帳ヨリ地租割戸數割ハ各納期初日ノ現在地租戸數
ニヨリ其町村納額ヲ第三號帳簿ヘイ印ノ如ク記載シテ納稅切符ト割印シ其増額ハ
印ノ如ク減額ハ印ノ如ク記載シテ戸長ヘノ通報書ト割印スルモノトス

第三條 前條各税金ヲ領取スルキハ第三號帳簿ヘイ印ノ如ク記載シ甲乙接續切符ヲ除
ク外郡區長名ノ領収證ナレハ之ト割印シ誤納還付ニ係ルモノハ印ノ如ク記載シ納
期限後ハ常ニ過未納額ヲ印ノ如ク揚ケ其過納ハ朱字ヲ以テ記載スルモノトス

第四條 前條ノ各税金不納處分ノ未追徴シタル金額ハ不納額帳ヨリ第三號帳簿ヘイ印
ノ如ク移記シ損失ヲ生セシキハ印ノ如ク記載スルモノトス

第五條 月税日税上リ高稅屠畜稅新規營業者ヨリ納ムル税金ハ之ヲ領取スル毎ニ各其
種類ニヨリ第四號帳簿ヘイ印ノ如ク記載シ領収證書ト割印スルモノトス而シテ印ノ如ク日
々小計通計ヲ朱記スヘシ
第六條 日々領取セル税金ハ各其種類ニヨリ總テ第五號帳簿ヘイ印ノ如ク記載シ之ニ
ズ印ノ如ク日計通計ヲ付シ其殘高ヲ印ノ如ク累計シ置キ之ヲ府廳ニ送納シタルキ
ハ印ノ如ク記載シ誤納還付セシキハ印ノ如ク朱記スルモノトス

△地方税○郡區役所記帳手續

第壹號

明治何年度

地方稅 鑑札番號帳

(用紙ハ美濃野表裏ハ白厚紙)

某郡(區)役所

本帳ハ地方稅賦課ノ爲メ下附スル鑑札ハ課目ノ種類ヲ分タス一號ヨリ起リ順次記入ス其破壊等ニテ書換下附スルモノハ元ノ番號ヲ記入ス其紛失等ニテ更ニ下附スルモノハ順次番號ヲ設クヘシ

何年度地方稅 鑑札番號帳

一	號	何年何月何日	何年何月何日	何々ニ付書替	何年何月何日	住所	人名	鑑札番號	
								年 月 日	年 月 日

(此裏面同上編者省略)

第二號(甲)

明治何年度

地方稅 中營業稅 一人別臺帳

(用紙ハ美濃野表裏ハ白厚紙)

某郡(區)役所

本帳ハ戸長役場ノ管理區域ニ從ヒ分別記入シ又ハ分綴スルモ妨ケナシ

(紛失等ニテ再ヒ下付スル鑑札番號改ムルハ右傍ニ其番號ヲ朱記ス以下同シ)

鑑札番號	第何號	年 月 日	何年何月何日	事	故	鑑札紛失ニ付何月何日再渡

△地方稅○郡區役所記帖手續

第 何 等	一ヶ年税金何圓	開業年月日	第何號	札下渡年月日	何年何月何日	事	故	或 積 續 (新規)							
								收入金	十	千	百				
第 商 業	一期分税金何圓	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日			十	千	百	十	圓	十	錢	厘
商 業	一期							〇	〇	一	二	三	四	五	六
木 綿 商	二期							〇	〇	一	二	三	四	五	六
薪 炭 商	三期							〇	〇	一	二	三	四	五	六
何 々	四期							〇	〇	一	二	三	四	五	六
第 工 業	二期							〇	〇	一	二	三	四	五	六
大 工 業	三期							〇	〇	一	二	三	四	五	六
商 業 上 工 業	四期							〇	〇	一	二	三	四	五	六
ハ 區 別 記 入								〇	〇	一	二	三	四	五	六
ス へ シ								〇	〇	一	二	三	四	五	六

下二百三十〇

(以下前ニ同ノ編者省略)

何郡(區)町(村)
第何番地或ハ寄留
原籍何府縣何郡區何町
村何番地
何ノ 誰

第 何 等	一ヶ年税金何圓	開業年月日	第何號	札下渡年月日	何年何月何日	事	故	或 積 續 (新規)							
								收入金	十	千	百				
料 理 屋	一期分税金何圓	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日			十	千	百	十	圓	十	錢	厘
一期	何月何日 收入済							〇	〇	一	二	三	四	五	六
他皆之ニ倣フ	二期							〇	〇	一	二	三	四	五	六
三期	三期							〇	〇	一	二	三	四	五	六
四期	四期							〇	〇	一	二	三	四	五	六
何郡(區)町(村)	何郡(區)町(村)							〇	〇	一	二	三	四	五	六
第何番地	第何番地							〇	〇	一	二	三	四	五	六
何ノ 某	何ノ 某							〇	〇	一	二	三	四	五	六

第二號(乙)

明治何年度

地方税中雜種税一人別臺帳

本帳ハ營業税ニ倣ヒ編綴スヘシ

某郡(區)役所

(用紙ハ美濃野表裏ハ白厚紙)

△地方税〇郡區役所記帖手續

下二百三十一

收入納スル
如キハ
宜キハ
製スヘシ
帳簿ナシ

四月 五月 六月 七月 八月 九月
十月 十一月 十二月 一月 二月 三月

下百三十四

(以下同ノ編者省略)

並 許 日 數	業 名	地 名	番 號	并 日 數	業 名	地 名	番 號	并 日 數	業 名	地 名	番 號	并 日 數	業 名	地 名	番 號	并 日 數	業 名	地 名	番 號	并 日 數			
何 年 何 月 何 日	祭 文 語	、 、 、 、	、 、 、 、	何 年 何 月 何 日	撰 事	、 、 、 、	、 、 、 、	何 年 何 月 何 日	、 、 、 、	、 、 、 、	、 、 、 、	何 年 何 月 何 日	、 、 、 、	、 、 、 、	、 、 、 、	何 年 何 月 何 日	、 、 、 、	、 、 、 、	、 、 、 、	何 年 何 月 何 日			
前 同 上				前 同 上				前 同 上				前 同 上				前 同 上							
												何 第 何 區 番 町 村 地 某											

第三號(甲)

明治何年度何期

地方稅中何(大科目例ハ)稅收納元帳

(用紙美濃野表裏ハ白厚紙)

地租割營業稅雜種稅戶數割ハ各別帳
ニス一稅ヲ二冊以上ニ分綴スルハ
甲乙丙ノ符號ヲ表面ニ朱記スベシ

某郡(區)役所

何年度何期何稅

(大科目何ハ)營業稅ノ類

何郡(區)

何町(村)外何ヶ町村

十 八 年 七 月 十 日	納額	加納額	減額	領収高	誤納還付	勘却	未納	納納	殘高
	戶長ヘ達シ	口三百圓							

△地方稅○郡區役所記帳手續

下百三十五

何年度何期何稅

何郡(區) 何町(村) 外何夕町(村)

年月日	摘要書	加納額及減額	領収高	課納還付	勘除	定却	過未	納納	殘金
七月十一日	何々二付同	□拾円		□六拾圓	主任捺印 以下全シ			未	□貳百五十拾
七月十五日	內納							未	□貳百五十拾
七月十七日	々三付何							未	□貳百五十拾
七月廿五日	內納							未	□二百四拾
七月卅一日	內納			□百四円				未	□百四拾壹
八月二日	何々二付還付							未	□百四拾壹
八月卅一日	公費成分 追徴 戸長へ通知	□貳円	三百六円 壹圓	壹円○				未	□壹圓○
八月十日	戸長へ通知	□五拾円						未	□貳圓○
七月十日								未	完結

何年度何期何稅

(大科目例ハ)
(雜種稅ノ類)

合計

(一郡區役所)
(所轄ノ合計)

年月日	摘要書	加納額及減額	領収高	課納還付	勘除	定却	過未	納納	殘高
七月卅一日	內納			□百四拾				未	□拾円
八月卅一日	公費成分 未追徴 戸長へ通知	□貳円	四百拾貳		八圓			未	□八圓
全月全日	全上官費	百五十圓	四百拾貳		八圓			未	完結
月日								未	
月日								未	
月日								未	
月日								未	
月日								未	
月日								未	
月日								未	
七月十日		□四百五十拾						未	

△地方稅○郡區役所記帳手續

△地方稅○郡區役所記帳手續

合計

月日	全月全日	八月三十一日	八月二日	七月三十一日	七月廿五日	七月十七日	七月十五日	七月十一日
官捐		追徵	還付	全上	內納	減	內納	増
四百六拾五圓						五圓		拾圓
四百四拾八圓		四圓		貳百八拾圓	百四圓		六拾圓	
壹圓八圓		壹圓						
		未	未	未	未	未	未	
完結		八圓	拾貳圓	拾壹圓	貳百九拾圓	三百九拾五圓	四百圓	

第三號(乙) 明治何年度 地方稅中雜收入收納元帳 某郡(區)役所

(用紙ハ美濃野表裏ハ白厚紙)

下二百三十八

領収月日	何年度雜收入	摘要	領収金額	住	納	所	姓	名
何月日	何月日	何年度何期何稅不納損失金(再營業(又ハ何々三付追徴)何郡區町村并地某他家遺留財產費却代)	□金	何程	何町村戶長	何	何	某
何月日	何月日	小	計金	何程				
何月日	何月日	通	計金	何程				

第四號 明治何年度 地方稅中雜種稅 月稅日稅上リ高稅 屠畜稅新規開業稅 收納元帳 某郡(區)役所

(用紙美濃紙表裏白厚紙)

△地方稅○郡區役所記帳手續 下二百三十九

何年度雜種稅

(營業稅ハ之ニ倣ヒ別ニ製ス)

領収月日	稅目	摘	要領	收	商	誤納還付	納 注 所 姓 名
何月日	藝	妓	何月分	割印領收証 下割印以下全シ □何月〇主任檢印 ⑤(以下同シ)			何町村又ハ 何期某或ハハ
同	演	劇	何日分又ハ上り高				全町(村) 何
同	屠畜	稅	何頭分				何町(村) 何
同	遊藝	稼人	新何期規分				何町(村) 何
何月日	料理	屋	新何期規分				何町(村) 何
同	興	行	相換何日分又ハ上				何町(村) 何
同	市	場	何月分上り高何程				何町(村) 何
	小	計	何				何町(村) 何
	通	計	何				何町(村) 何

何月日	何稅	改通計	何程	何圓	何町(村)戸長 何ノ某渡

△地方稅○郡區役所記帳手續

第五號
明治何年度

(用紙美濃野表裏白厚紙)

地方税金収納日計簿

地方税金収納日計簿ハ一冊ニシテ地租割
營業稅雜種稅戶數割雜收入ノ五科目ハ
各區別見出シテ付スヘシ

何年度地租割之部

(戶數割雜收入ハ之ニ倣ヒ別ニ製ス)

領収月日	住所姓名人	領収高	送納月日	送納高	殘高
何月何日	何町	七拾圓印 (主任捺印 以下全シ)			
同	何町外何ヶ村	百圓印			
計		百七拾圓印 (印那區長ノ捺印以下全シ)			百七十圓印
何月日前	同	三拾圓印			
通計		貳百圓印	何月何日	何月何日	何月何日

(以下本年度決算マテハ順次記入ス)
(以下各稅トモ之ニ倣フ)

何年度雜種稅之部

(營業稅ハ之ニ倣ヒ別ニ製ス)

價収月日	摘要	住所姓名人	領収高	送納月日	送納高	殘高
何月日	稼績	何町村	六拾圓印 (主任捺印 以下全シ)			
同	新規	何	壹圓印			
同	月稅	何	九圓印			
計			七拾圓印 (印那區長捺印 以下全シ)			七十圓印
何月日	稅	何町村	四圓印			
同	屠畜稅	何町村	壹圓			
計			五圓			

△地方稅○郡區役所記帳手續

改 通 計 三 百 四 拾 圓

下二百四十六

三 圓

第六號
明治何年度
地方税金不納額帳
(用紙美濃野表裏白厚紙)
某郡(區)役所

課 目 納 期 限 不 納 金 額 公 賣 物 件 追 徵 金 額 勘 定 除 却 金 額 住 所 姓 名

商業稅	何月何日何	圓	何品何個	何	圓何	圓	何町(村)某
何々稅	、、、	、	、	、	、	、	、
何々稅	、、、	、	、	、	、	、	、
何々稅	、、、	、	、	、	、	、	、
何々稅	、、、	、	、	、	、	、	、
何々稅	、、、	、	、	、	、	、	、

何々稅	、、、	、	、	、	、	、	、
何々稅	、、、	、	、	、	、	、	、
何々稅	、、、	、	、	、	、	、	、
何々稅	、、、	、	、	、	、	、	、
何々稅	、、、	、	、	、	、	、	、
何々稅	、、、	、	、	、	、	、	、

(以下幾名アルモ順次記入シ一期毎ニ合計ヲ付スベシ)

戸長役場記帳手續

第一條 戸長ハ營業稅雜種稅各營業者ノ鑑札番號等級稅額等ヲ第一號乙丙丁ノ帳簿ニ式ノ如ク記入シ地租割戸數割ハ第一號甲帳簿ヘ印ノ如ク記載シ其納期ニ從ヒ之ヲ領收スルハ印ノ如ク記入シ收納稅切符ト割印スルモノトス

第二條 日々領收セル税金ハ其種類毎ニ第二號帳簿ニ印ノ如ク順次記入シ印ノ如ク日計通計ヲ付シ而シテ之ヲ郡區役所ヘ送納セントスルハ印ノ如ク記載シ尙第一號帳ヘモ印ノ如ク記載シ其金員ヲ合計照査スルモノトス

第三條 諸税金意納者ヲ報告セントスルハ第三號帳簿ヘ印ノ如ク記載スル者トス

第四條 郡區役所ヨリ前條追徵金等ノ報告ヲ受ケタルハ第三號帳簿ヘ印ノ如ク記入シ尙勘定除却金額ハ印ノ如ク記載スルモノトス

△地方稅○郡區役所記帳手續

下二百四十七

第一號(甲)
明治何年度(前)後(半)期
(用紙美濃野表裏白厚紙)

地方稅中地租割一人別收納元帳

戸數割ハ之ニ倣ヒ別ニ製スヘシ
某町(村)何ヶ町村
一戸長役場所轄内ハ各町村限區別見出夫付シ一冊ニ編綴ス二冊以上ニ
分綴スルキハ甲乙丙ノ符號ヲ表紙ニ付記スヘシ

収税切符
以同印シ

何年度	地租割	何村(町)
前(半)期	後(半)期	人
地租金何程(地租金ヲ掲ケサルモ妨ケナシ)	地租金何程	名
一金何程	○金何程(主任捺印他ハ之ニ倣フ)	何
○金何程	○金何程	ノ
○金何程	○金何程	誰
(内納チナスノ例)	(一時皆納ノ例)	
何月何日 収入済	何月何日 収入済	
何月何日 収入済	何月何日 収入済	

前(半)期	後(半)期	何町(村)
後(半)期	何月何日他へ譲渡	(他町村ヨリ納税スルモノアルキノ例)
人	何	誰
名		
金何程	金何程	
○以下同シ		
金、金、金		
送納		
前同		
何月日郡區役所ニ		

△地方稅○郡區役所記帳手續

第一號(乙)

明治何年度

地方税中營業税一人別收納帳

(用紙美濃野表裏白厚紙)

某町(村)外何町村

戸長役場

(再ヒ渡ス片ハ右傍ヘ其番號ヲ朱記スヘシ)

第何等	第何業	番鑑	年開	年開	年開		故	鑑札破損ニ付何月何日再渡
		號札	業日	業日	月	日		
商 業	油 稅	第何號	何年何月何日	何年何月何日	年開	年開	故	
					下鑑	下鑑	故	
					業日	業日	故	
					何日	何日	故	
一期分稅金何圓		二期分稅金何圓		三期分稅金何圓		四期分稅金何圓		
一期 何月何日 收入濟		二期		三期		四期		
戸長官印收稅切手 御印スヘシ								
何郡(區)町(村)		第何番地		某				
十萬千一百十圓十錢厘		二二三二二二二二二三四						

第何等	第何業	番鑑	年開	年開	年開		故	鑑
		號札	業日	業日	月	日		札
工 業	左 官 職	第何號	何年何月何日	何年何月何日	年開	年開	故	
					下鑑	下鑑	故	
					業日	業日	故	
					何日	何日	故	
一期分稅金		二期分稅金		三期分稅金		四期分稅金		
一期		二期		三期		四期		
第何番地								
十萬千一百十圓十錢厘		〇〇一三二三四五六七						

(以下全シ編者省零)

第一號(丙)

明治何年度

地方税中雜種税一人別收納元帳

(用紙美濃野表裏白厚紙)

某町(村)外何町村

戸長役場

第何等	第何業	番鑑	年開	年開	年開		故	鑑
		號札	業日	業日	月	日		札
左 官 職	工 業	第何號	何年何月何日	何年何月何日	年開	年開	故	
					下鑑	下鑑	故	
					業日	業日	故	
					何日	何日	故	
一期分稅金		二期分稅金		三期分稅金		四期分稅金		
一期		二期		三期		四期		
第何番地								
十萬千一百十圓十錢厘		〇〇一三二三四五六七						

〇一
一
二
三
四
五
六
七
八

△地方税〇郡區役所記帳手續

下札(國稅以鑑)
公シ

第一等	料理屋	一期	何月何日 収入済	二期	何郡(區)町(村) 第番地 何ノ某
	三期	四期	故	故	
第二等	遊藝稼人 兼俳優	一期	収入金 十万千百十圓十錢厘	二期	(以下全シ)
	三期	四期		故	
第三等	一ヶ月税金	一期分税金	故	故	何郡區町村 何番地 某
第四等	一長何問何船	前半期	後半期	故	何郡區町村 何番地 某

下二百五十二

計合

第一等	荷積中小車	前半期	後半期	第番地
第二等	一ヶ月税金何圓	前半期	後半期	第番地
第三等	何等藝妓 兼遊藝師匠 同遊藝稼人	一ヶ月税金何圓	何區何町第何番地寄留 原籍何府縣何郡區町村番地 何ノ某	何區何村第何番地寄留 原籍何府縣何郡區町村番地 何ノ某
第四等	四月 收入済	五月	六月	七月
第五等	十月	十一月	十二月	一月
第六等	何等人寄席	一ヶ月税金何圓	何區何村第何番地寄留 原籍何府縣何郡區町村番地 何ノ某	何區何村第何番地寄留 原籍何府縣何郡區町村番地 何ノ某

△地方稅○郡區役所記帳手續

下二百五十三

上り高ニ
日毎
納スル
收メハ
宜シク
入ルヘ
製入ヘ
サレテ

計合

四月	五月	六月	七月	八月	九月
十月	十一月	十二月	一月	二月	三月
四月	五月	六月	七月	八月	九月
十月	十一月	十二月	一月	二月	三月

業名	行名	地番	許可年月日	並日数	課税額	何程	何程	何程	何程	何程	何程
演劇	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何
撲	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何
何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何
何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何

業名	行名	地番	許可年月日	並日数	課税額	何程	何程	何程	何程	何程	何程
祭文	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何
何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何
何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何
何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何

△地方税○郡區役所記帳手續

何月日収入

牛何頭分

許可年月日
並課目
字何處市場或ハ屠牛場

何郡(區)町(村)番地
何

某

何月日收入
一金何程
郡役所ニ送納ノ都度合計ヲ付シ何月何日送納
ト記入シ尙年度末ニ至リ通計ヲ付スヘシ

何月分
上リ高何程
(市場ト屠畜ハ別紙ニスヘシ)

第一號(丁)

明治何年度

地方税中雜收入一人別収納元帳

某町(村)外何ヶ町(村)
戸長役場

(用紙美濃野表裏白厚紙)

何年度雜收入

領収月日	摘要	要領収金額		住所	姓名
		納	住		
何月何日	何年度何期今何税不納損失金 再營業(又ハ何々)ニ付追徴 何町村番地何ノ某絶家遺留財 産賣却代	□金何程	何町村番何ノ某		
	合計 年度末ニ至リ如此合 計ヲ付スヘシ	□金何程			

第二號
明治何年度

地方税金収納日計簿

地方税金収納日計簿ハ一冊ニシ地
某町(村)外何ヶ町(村)
戸長役場
租割營業稅雜種稅戶數割雜收入ノ
五科目ハ各區別見出ヲ付スヘシ

(用紙美濃野表裏白厚紙)

△地方税○郡區役所記帳手續

何年度地租割ノ部 (戸數割雜収入ハ之ニ倣ヒ別ニ製ス)

領収月日	摘要	住納所姓名	領収高	送納月日	送納高	殘金
何月何日前半期	何町何村某町	某町	貳圓			
同	同	同	貳圓			
計			三圓			三圓
何月何日	后半期		四圓			
同	同		三圓			
計			七圓			
通計			拾圓			
何月何日	追徴郡區役所ヨリ通報		壹圓	何月何日	拾圓	ナシ

△地方税○郡區役所記帳手續

同日	前	前半期	何町(村)	某	壹圓
計					貳圓
通計					拾圓
何月何日	何々ニ付誤納	何町	某町	分村	貳圓
改通計					拾圓

六

何年度雜種稅之部

(營業稅ハ之ニ倣ヒ別ニ製ス)

五二五五五〇

領収月日	摘要	住所姓名人領	収	高	送納月日	送納高	殘	高
何月日一	一期	何何 何何 某村	一圓〇	(主任檢印以)				
同	二期	何何 何何 町	貳圓					
計			三圓〇	(戶長檢印以)			三圓〇	
同月何日	一期	何 何 村	三圓					
同			壹圓					
計			四圓					
通計			七圓〇		何月何日	七圓〇	ナシ	〇
同	何月分	何何 何何 某町	五圓					
同	何月分		七圓					
同計	何半		拾貳圓					

通計																		
拾九圓〇																		

△地方稅○郡區役所記帳手續

五二五五五〇

何年度地方税金納合計

領収月日	領収額	高送納月日	送納高	高
何月 日	六圓〇〇 (主任者檢印以下全シ)		六圓〇〇	高
、	拾壹圓〇〇			
通	計 拾七圓〇〇 (戸長檢印以下全シ)	何月 日	拾七圓〇〇	ナシ
何月 日	拾貳圓〇〇			
通	計 貳拾九圓〇〇			拾貳圓〇〇
何月 日	貳圓			
通	計 三拾壹圓〇〇			拾四圓
何月 日	何月 日 内貳圓〇〇 誤納還付			
改通	計 貳拾九圓〇〇			

第三號

明治何年度

(用紙美濃紙裏白厚紙)

地方税金不納額帳

何郡(區)町(村)何外ヶ町(村) 戸長役場

何年度地方税金不納額帳

課目	納期限	不納金額	公賣物件	追徴金額	勘定除額	住所姓名
商業税	何月何日	壹圓	何品何個	五拾錢	五拾錢	何町(村)何某
遊藝稼人税	何月何日	壹圓		〇	壹圓	

△地方税○郡區役所記帳手續

現行

(以下幾名アルモ順次記入シ一期毎ニ合計ヲ付スヘシ)

●明治十八年十一月三十日乙第百五十七號郡區役所へ達

本年(二月)當府乙第貳拾七號達地方税金収納順序ニ關スル諸帳簿様式中船車稅臺帳別

紙ノ通更正シ來ル十九年度ヨリ施行候條此旨相達候事

船		川		間		三		長	
年破 月日	番鑑 号札 第	年 月	日	年 月	日	后 半 期	前 半 期	年 度	全 上
						年 月	日		
年破 月日	番鑑 号札 第	年 月	日	年 月	日	后 半 期	前 半 期	年 度	全 上
						年 月	日		
一 夕 年 稅 金	全 上	年 度	全 上	年 度	全 上	半 期 分 稅 金	全 上	年 度	全 上
后 半 期	前 半 期	后 半 期	前 半 期	后 半 期	前 半 期	后 半 期	前 半 期	后 半 期	前 半 期
								第 番 地	
								(何區町) 第(何)番地 何ノ某	

車		力		人		乘		人	
年破 月日	番鑑 号札 第	年 月	日	年 月	日	后 半 期	前 半 期	年 度	全 上
						年 月	日		
年破 月日	番鑑 号札 第	年 月	日	年 月	日	后 半 期	前 半 期	年 度	全 上
						年 月	日		
一 夕 年 稅 金	全 上	年 度	全 上	年 度	全 上	半 期 分 稅 金 (何 拾 錢)	全 上 (何 拾 錢)	年 度	全 上 (何 圓)
后 半 期	前 半 期	后 半 期	前 半 期	后 半 期	前 半 期	后 半 期	前 半 期	后 半 期	前 半 期
								第 番 地	
								(何區町) 第(何)番地 何ノ某	

△地方税○郡區役所記帳手續

半期分税金		全上		全上		第 番 地
前 半 期	后 半 期	前 半 期	后 半 期	前 半 期	后 半 期	
后 半 期	前 半 期	后 半 期	前 半 期	后 半 期	前 半 期	
后 半 期	前 半 期	后 半 期	前 半 期	后 半 期	前 半 期	

郡區役所會計規程 并金錢収支切符及収支計算書
書式附精算書樣式

現行

●明治十八年五月一日乙第六十六號郡區役所へ達

郡區役所會計規程別冊ノ通相定メ本年七月一日ヨリ施行候條此旨相達候事

但明治十五年(六月)當府乙第八十七號達ハ右施行ノ日ヨリ廢止ス

郡區役所會計規程

- 第一條 凡金錢ノ出納ハ此規程ニ由リ取扱フヘシ但別ニ成規アルモノハ此限ニ非ス
- 第二條 郡區役所ニ於テ管理スル一切ノ金錢ハ其年度及種類ヲ明瞭ニ區別スヘシ
- 第三條 金錢ノ出納ハ總テ切符ヲ以テ執行シ現金ハ爲替方ヲ取扱ナサシムヘシ
- 第四條 金錢ヲ遞送スルニハ送金手形ヲ用フヘシ

但送金手形ヲ以テ遞送シ得サル地ハ此限ニ非ラス

- 第五條 金錢ノ収入ヲ爲スニハ先ツ主任者ニ於テ其納入ヨリ差出シタル納金証書ニ檢印シ而シテ現金ヲ爲替方ニ就キ預リ切符ニ換ヘシメ再ヒ納金証書ヲ添ヘ差出サシムヘシ但地方ヨリ遞送セル金錢送金手形アルハ直ニ預リ切符ニ換ヘ又現金ナルハ主任者立會爲替方ヲシテ其金員及眞贋ヲ鑑査セシメ預リ切符ト交換シ收入ノ手續ヲ爲ス可シ
- 第六條 郡區吏員給料旅費及廳中諸費並ニ戸長以下給料旅費ハ其豫算額月割ヲ以テ一ヶ月分ツ、前月廿五日迄ニ下附スヘシ
- 第七條 郡區廳舎建築修繕費及掲示諸費ハ其支出ヲ要スル時ニ臨ミ申請スヘシ
- 第八條 第六條經費ノ支出ハ其豫算金額ニ超過スヘカラス
- 但中科目ノ金額ヲ互ニ流用セントスルハ其事由ヲ具シ許可ヲ受クヘシ
- 第九條 支出切符ニハ郡區長及主任者調印スヘシ
- 但切符ノ金員ヲ改竄塗抹セルカ又ハ捺印ノ具備セサル者ハ渾テ使用スルヲ得ス
- 第十條 支出金ハ其支出切符ト受領証ト交換シ現金ハ受取人ヲシテ爲替方ヨリ受取ラシム可シ
- 第十一條 日計表及爲替方ヨリ差出ス所ノ預リ金明細表ハ郡區長ニ於テ日々現金受拂簿ト照査シ之ニ檢印スヘシ

△地方税○郡區役所會計規程并金錢収支切符及収支計算書書式附精算書樣式

第十二條 日々収支シタル金錢ノ預リ切符及ヒ支出切符ハ毎月二回計算シ其金額ヲ甲乙帳ニ移載シ現金受拂簿ト照合ノ上郡區長之ニ割印スヘシ

第十三條 毎月末府廳ナレハ其前日ノ日現金内譯表ヲ查整シ翌月五日迄ニ之ヲ府廳ヘ差出ス可シ

第十四條 郡區吏員給料旅費及廳中諸費郡區廳舎建築修繕費戸長以下給料旅費ハ每一ケ月其収支シタル處ノ金員科目及其事由ヲ摘記シタル計算書ヲ調製シ翌月十日マテニ之ヲ府廳ヘ差出スヘシ

第十五條 第十四條ノ經費精算書ハ翌年度四月二十日迄ニ府廳ヘ差出スヘシ

第十六條 第十四條ノ經費決算上殘餘アルルキハ之ヲ府廳ヘ還納スヘシ

第十七條 金錢出納ノ記簿ハ復記式ヲ用ヒ記簿例ニ由リ扱フヘシ

第十八條 金錢出納ニ關スル証書類ハ每半年度分テ各科目ニ區分蒐輯シ其冊尾ニ金員ノ合額及紙數ヲ記載シ置クヘシ

但領収証書ハ現金受拂簿ノ番號ニ據リ順次編號スヘシ

第十九條 金錢及物品ノ出納帳簿ハ府廳ヨリ吏員ヲ派遣シ検査セシムヘシ

●明治十八年六月十五日乙第七十七號郡區役所ヘ達
本年當府乙第六十六號達郡區役所會計規程ニ屬スル金錢収支切符(収入ハ領収証書トモ)別紙ノ通相定メ候條本年七月一日ヨリ使用スヘシ此旨相達候事
(別紙)

現行

●明治十八年七月十一日乙第九十三號郡區役所ヘ達
本年當府乙第六十六號達第十四條ニ屬スル収支計算書書式別紙ノ通相定メ候條此旨相達候事
(別紙)

現行

計算書々式凡例

一 計算書ハ甲月収支ノ分ヲ乙月九日迄ニ調製シ翌十日地方稅課ニ送附スヘシ

一 計算書ハ各年度ヲ區別シ調理スルモノトス故ニ該年度ヲ經過スルモ猶其年度ニ屬スル収支ヲ了セサル間ハ其年度ノ計算書(例ヘハ十七年度ニ屬スル經費ヲ十八年七月後ニ収支スルルキハ現収支ノ年月ヲ書シ十七年度収支計算書ト記スヘシ)トシテ調理ス可シ

一 元受ノ部憑書番號ハ地方稅課ヨリ送付スル支出切符ニ付セル番號ヲ記入スヘシ
明治何年何月中何年度何費(大科目)収支計算書 □ハ朱書スヘシ

一金□(初月ノ書式) 但憑書第 號

一金□(翌月以後ノ書式) 元 出請 高
何月何日受取
元 請 高

金 前月ヨリ越高

△地方稅○郡區役所會計規程并金錢収支切符及収支計算書書式附精算書樣式 下二百六十九

金

但憑書第 號

何月何日受取

金

本月 戻入

但何々費何月中仕拂ノ分
何々ノ事故ニヨリ戻入

支 出 高

一金

内 内 内 譯

金

何

費(中科目)

内

金

何

費(小科目)

金

何

費

金

何

費

内 内 内

金

何

費

金

何

費

金

収支差引 殘高

右ハ明治何年何月中何年度何費(大科目)収支計算書面之通相違無之候也

年 月 日

郡區長

姓

名 印

現行

大坂府知事某殿

(最尾ノ結文)

右ハ明治何年何月中何年度何費(大科目)収支計算書面之通相違無之候就テハ何年度ニ
属スル収支完結候也

●明治十八年十二月廿三日乙第百六拾八號郡區役所へ達

本年五 當府乙第六拾六號達郡區役所會計規程第十五條精算書様式別冊ノ通相定候條此
旨相達候事

(別冊)

明治何年度何々(大科)精算書

郡(區)役所

一 料紙ハ美濃野紙表裏ノ二葉ハ白紙ヲ用フベシ

一 綴目表裏並小口甲乙ノ紙端へ郡區長契印スベシ

一 戸長以下給料旅費精算書ニハ別冊内譯表ヲ添付スベシ

△地方税○郡區役所會計規程并金錢収支切符及収支計算書々式附精算書様式

一金

元受高

此譯

一金

何々(中科)

内

金

何

金

何

金

何

内

金

何

金

何

金

何

(内譯前例ニ倣フ)

一金

差引 殘高

右明治何年度決算相違無之候也

但大坂府へ返納

年月日

郡(區)長

名印

大坂府知事宛

明治何年度戸長以下給料旅費内譯帳

郡(區)役所

明治何年度戸長以下給料旅費内譯表

此譯

一金

町村名

戸數

俸給

雑用掛筆生給料職務勉勵手當

計給

合計

何町(村)外何

何

何

何

何

何

何町(村)

何

何

何

何

何

計

〇

何

何

何

何

郡區役所記簿例

△地方税○郡區役所會計規程並金錢収支計算書式附精算書様式

現行

●明治十八年五月廿一日乙第六十七號郡區役所へ達
郡區役所金錢出納ニ關スル記簿並ニ諸帳簿式別冊ノ通相定メ來ル十八年度ヨリ施行候
條此旨相達候事○但明治十五年當府乙第百三號達ハ施行ノ日ヨリ廢止ス
(別冊)

郡區役所記簿例

- 第一條 金錢出納ノ帳簿ハ現金受拂簿日記簿原簿ヲ以重要基礎トシ其他ヲ補助簿トス
- 第二條 帳簿ニ記入スル金員及ヒ番號ノ數字ハ亞刺比亞數字ヲ用フヘシ
- 第三條 現金受拂簿日記簿原簿ハ府廳ノ承認ヲ經サレハ之ヲ増減スルヲ得ス其他補助
簿ハ各役所ノ便宜ニ由リ之ヲ増減スルヲ得
- 但補助簿中内譯及ヒ口別簿ハ増減ノ時々其原本ヲ製シ届出ツヘシ
- 第四條 記簿ハ郡區長ノ印章アリテ證據トナルヘキ決議報告書等ヲ得ルニアラサレハ
記入スヘカラス
- 第五條 帳簿ニ記入セシ後憑書ニ書換若クハ誤謬アルヲ發見スルモ主簿者ニ於テ帳
之ヲ訂正スルヲ得ス必ス各主任者ヨリ其事由ヲ分疏証明スル報告ヲ得テ後訂正ス
可シ
- 第六條 記簿ニ誤字又ハ脱漏アルルハ其上ニ正字ヲ補訂シ而シテ誤字ハ其正中ニ二線ヲ
横畫スルヲ以テ正誤ノ式トス

第七條 日々出納スル所ノ金錢ハ其日ニ於テ帳簿ニ記入完了シ而シテ後日記表ヲ調製
ス可シ

第八條 諸物品受拂帳簿ハ適宜ニ之ヲ設ケ新調破壞賣却等其品額ヲ區別記載スヘシ

第九條 金錢出納及物品ノ帳簿ハ他ヘ携帶シ又ハ貸與スルヲ得ス照査ヲ請フヘカラス
主簿者照校シテ其當否ヲ辨明スヘシ

戸長役場金錢出納條規 并諸帳簿及計算表
精算帳書式

●明治十八年二月五日乙第拾七號郡區役所戸長役場へ達
戸長役場金錢出納條規別冊ノ通相定メ本年七月一日ヨリ施行候條此旨相達候事

明治十八年(月)乙第 號別冊

戸長役場金錢出納條規

△地方稅○戸長役場金錢出納條規并諸帳簿及計算表精算帳書式 下二百七十五

現行

戸長役場金銭出納條規

- 第一條 凡ソ金銭ノ出納ハ此條規ニ據リ取扱フヘシ
但別ニ例規アルモノハ此限ニアラス
- 第二條 金銭ノ出納ハ用掛筆生ノ内ヲ以テ主任ヲ定メ之ヲ取扱ハシムヘシ
- 第三條 戸長以下給料旅費ノ一周年度豫算額ハ年々郡區役所ヨリ達スルモノトス
- 第四條 第三條ノ經費金ハ其豫算額月額ヲ以テ每一ヶ月分ヲ前月末日マテニ郡區役所ヨリ廻付スルモノトス
- 第五條 凡ソ金銭ノ収支ハ憑書ニヨリ執行スヘシ其憑書ヲキモノハ収支スルヲ得ス
- 第六條 金銭ノ収支ヲ要スルキハ各主務者ニ於テ其金員及ヒ事要ヲ記シタル憑書(収支ノ區分)ヲ製シ之ヲ出納主任者ニ回付ス出納主任者ハ其事項及金額等ヲ調査シ戸長ノ決ヲ受クヘシ
- 第七條 出納主任者ハ第六條ノ決ヲ了スルハ現金受拂簿ニ其金員事要年月日及受取人若クハ納入ノ姓名ヲ記シ番號ヲ定メ之ヲ憑書ニ移載シ而シテ收入ハ同一ナル領收證書ヲ作リ割印シテ納入ニ交付スヘシ支出ハ其憑書ト割印シ受取人ニ現金ヲ交付

- シテ領收證書ヲ徴シ尙之ニ憑書ノ番號ヲ付シ置クヘシ
- 第八條 金銭出納ニ關スル諸帳簿及證書類ノ金員ニ誤字又ハ脱漏等アルキハ必ス其側ニ正字ヲ以テ補訂シ誤字ハ朱ニテニ線ヲ縱書シ捺印ヲ捺捺スヘシ
- 第九條 金銭出納ニ關スル證書類ハ一周年度分種類ヲ區別シ之ヲ蒐輯シテ其冊尾ニ證書ノ數及金員ノ合額ヲ記シ置クヘシ
- 第十條 金銭出納ニ關スル諸帳簿及證書類ニ記載スヘキ金員數字ノ内一二十ハ必ス壹貳拾ノ字ヲ用フヘシ
- 第十一條 金銭出納ノ帳簿ハ左ノ如シ
現金受拂簿
内譯簿
假収簿
備品受拂簿

- 第十二條 凡ソ其日ニ出納シタル金員ハ總テ其日ニ於テ帳簿ニ記入スヘシ
- 第十三條 出納主任者ハ日々其出納セシ科目金員等ヲ記載シタル計算表ヲ製シ毎翌日戸長ノ檢閲ヲ受クヘシ
- 第十四條 戸長役場ノ現金ハ總テ戸長ニ於テ保管スヘキモノトス
- 第十五條 出納主任者ハ日々金銭ノ出納ヲ終ヘタルキハ戸長ト立會現金ヲ檢査シ之ヲ

△地方税○戸長役場金銭出納條規并諸帳簿及計算表精算書々式 下二百七十七

現金受拂簿ニ照合シ其現金ハ封緘ノ上金匣ニ納メ其鍵ヲ封シ戸長ニ引渡スヘシ又
 出納ヲ始メルルハ前項ノ手續ニ從ヒ金匣及封緘ヲ開披スヘシ
 第十六條 第三條ノ經費ハ每一ヶ月収支シタル精算帳ヲ製シ之ニ領収證ヲ添ヘ翌月五
 日マテニ郡區役所ヘ差出スヘシ
 第十七條 第三條ノ經費ハ一周年度決算ノ上殘餘アルルハ翌年度四月五日マテニ郡區
 役所ヘ還納スヘシ
 第十八條 戸長役場金錢出納ハ毎年郡區役所ヨリ検査スルモノトス
 但時宜ニ依リ府廳ヨリ検査スルコトアルヘシ

現行

●明治十八年二月十日乙第貳拾號郡區役所戸長役場ヘ達
 本年當府乙第拾七號達戸長役場金錢出納條規ニ屬スル諸帳簿及ヒ計算表精算帳等ノ書
 式別冊ノ通相定メ候條此旨相達候事

記簿 例

一記簿ハ金錢物品等ノ出収ヲ明晰ナラシムル爲メ用ニヘキモノニ付勉メテ誤脱錯亂ノ
 弊ナキヲ要ス
 一金錢出納ノ帳簿ハ相當年度ヲ區分シ記載ス故ニ甲年度ニ屬スヘキ収支ヲ乙年度ニ於
 テ収支スルモ尙ホ甲年度ノ帳簿ニ記入スルモ可キモ其後ノ帳簿ニ於テハ其年
 度ノ帳簿ニ相當年度ニ拘ワズ一周年度ニ係ル収支ヲ記入スルモノトス
 但現金受拂簿ハ相當年度ニ拘ワズ一周年度ニ係ル収支ヲ記入スルモノトス

一現金受拂簿ノ収支番号ハ一周年度通用スルモノトス

一現金受拂簿内譯簿假収簿假出簿ハ一周年度一冊ヲ用ヒ備品受拂簿ハ連年度通用スル
 モノトス

一現金受拂簿ハ日々ノ金錢出納ヲ一切登記スルモノナリ故ニ本請本拂ト假請假拂トテ
 問ハス總テ憑書ニ就キ金員及事要等ヲ記載スルモノトス

一内譯簿ハ各種各別ニ調製シ其豫算ニ據リ収支ヲナスモノトス
 甲號書式其現収支ニヨリ記入スルモノトス
 郡區長ノ管理スルモノ等ハ乙號書式ニ據リ憑書ニ就キ記載スルモノトス

一假収簿ハ一時本受ニナシ得サル金員ヲ記入スルモノナリ故ニ憑書ニ就キ其種類ニ區
 分シ金員及事要等ヲ明記シ置キ追テ該金ノ本受ニ至ルテ俟ツテ此假収金ハ一日支拂
 更ニ本収ノ手續ヲナスモノトス

一假出簿ハ一時本拂ニナシ得サル金員ヲ記入スルモノナリ故ニ憑書ニ就キ其種類ヲ分
 チ金員及事項ヲ明記シ置キ追テ其全額決算ニ至ルモノハ直ニ本拂ニ更正シ其幾分ハ
 決算ニ至ル幾分ハ未決算ノモノアルルハ決算ノ分ハ直ニ本拂ニ更正シ未決算ノ分ハ

返納セシメ更ニ収入ノ手續ヲナスモノトス
 一備品受拂簿ハ圖書其他諸器物新調破壊賣却等總テ其品類ヲ區分シ記入スルモノトス

△地方稅○戸長役場金錢出納條規并諸帳簿及計算表精算書式 下二百七十九

内譯假假備備假假内
出出出出出出出出出出
紙紙紙紙紙紙紙紙紙紙
簿簿簿簿簿簿簿簿簿簿
之之法野用拂備假假内
ニモノ紙簿品出出譯
同皆寸外ノ受簿簿簿一

年月日	番號	摘要	受	拂	殘
十八年 七月一日		前年度繰越金	七百七拾圓〇		
		郡役所ヨリ七月分戶長以下給料旅費收入	三十四圓〇本簿ニ付キ領收證ヲ發スルモノハハ此ノ如ク領收證ト月長刷印スヘシ以下同シ		
	一	戶長某出張旅費	(戶長支出張書ト刷印ス以下同シ) 一円六十錢〇主任檢印		
		小〇(戶長檢印)計	七百八拾四圓〇	壹圓六拾錢〇	
全五日	二	何某外何人ヨリ聯合戶數別列別收入	七拾五圓〇		七百八十二圓四十錢〇主任檢印以下同シ

自明治 年 月 日
現金受拂簿
何郡(區) 某戶長役場

(用紙ハ清長紙ノ類裏紙ハ糊表紙トス内譯簿假收簿假出簿備品受拂簿モ亦同シ)

下三百八十一〇

シハナ

年月日	番號	摘要	受	拂	殘
全十日	四	聯合町村費ニ對スル地價測營業別反別測 某外何人ヨリ收入	貳百五拾圓〇		九百七圓九十錢〇
		地方稅地租勘外三廉收入	五百八圓〇		
全	五	教員某出張旅費假出	(三圓五拾錢〇)		
全	六	役場用祝箱硯共買入	(三拾錢〇)		
全	七	役場用卷紙買入代某	(四拾五錢〇)		
全	八	役場修繕費某渡	(三拾五圓〇)		
全	九	教員某旅費渡	(五圓六拾錢〇)		
全	一〇	學校用テール買入代某渡	(九圓五拾錢〇)		
全	三	通〇(戶長檢印)計	九百拾七圓〇	九圓拾錢〇	
		小〇	計百三拾三圓〇	七圓五拾錢〇	
全		地方稅地租勘外三廉收入	五百八圓〇		
全	二	役場用火鉢買入代某	(貳圓五拾錢〇)		
全	三	學校用椅子買入代某	(三圓五拾錢〇)		
全	四	役場用半紙買入代某	(壹圓五拾錢〇)		

△地方稅〇戶長役場金錢出納條規并諸帳簿及計算表精算書式

下三百八十二

同	生徒試驗用筆墨紙買 入代某渡	計	六百五拾八圓〇	(三圓三拾錢〇)		
同	戶長用掛筆生七月分 給料某外何人渡	計	千五百七十五 圓〇	五十七圓六十五錢〇		千五百八十四 錢〇
同	筆生某出張旅費			(貳拾七圓〇)		
同	役場ヨリ何處へ何品 運送買某渡			(八拾錢〇)		
同	役場用椅子買 入代某渡			(貳拾七錢〇)		
同	地方稅地租割外三廉 郡區役所へ送納			(壹圓五拾錢〇)		
同	地方稅地租割外三廉 郡區役所へ送納			(四百六十六圓〇)		
同	用掛某旅費假出			(貳圓五拾錢〇)		
同	通〇	計	千五百七十五 圓〇	七百五拾圓〇		九百七十壹圓十 錢〇
同	地方稅地租割外三廉 郡區役所へ送納			(壹圓〇)		
同	用掛某旅費假出			(壹圓〇)		
同	聯合町村費何費何費 對入ル地價何費何費 割某外何人ヨリ收入			五拾三圓〇		

同	用掛某旅費假出ノ分 精算ノ上過剩返納	計	(拾) 錢〇			
同	戶長以下給料旅費 月分郡區役所ヨリ收入		(三拾四圓〇)	拾五圓〇		
同	役場小使某外 二八給			拾圓〇		
同	學校小使某外 二〇人給			拾圓〇		
同	通〇	計	八百三十八圓拾 貳錢〇	(三圓貳拾錢〇)		千七百八十壹 圓八錢〇
同	戶長某何處出張旅費 假出	計	千四百十三圓 貳錢〇	六百三十二圓		

自明治年月日
 至全年月日
 地方稅
 戶長以下給料旅費內譯簿
 何郡(區)
 某 戶長役場

△地方稅〇戶長役場金錢出納條規并諸帳簿及計算表精算書式 下二百八十三

本部
現金
出入
支差
ト引
トス
ト

元 受 元 受 元 受

年月日	摘要	受	拂	残
七月五日	何某外何十人ヨリ戸 數割反別割收入	七十〇(主任印) 五〇〇(以下同シ)		
同	役場用火鉢買入代		貳円五(主任印) 十銭〇(以下同シ)	
同	學校用椅子買入代		三圓五拾銭〇	
同	役場用半紙買入代		壹圓五拾銭〇	
同	何某外何十人ヨリ地價 割營業割反別割收入	貳百五十圓〇		六十七圓(主任印以) 五十銭〇(下同シ)
同	役場用視箱視共買入代		三拾銭〇	
同	卷紙買入代		四拾五銭〇	
同	役場内何處修繕費		三拾五圓〇	
同	教員某出張旅費		五圓六十銭〇	
同	學校用テール買入代		九圓五十銭〇	
同	生徒試験用筆紙買入代		三圓三十銭〇	貳百六十三圓 三十五銭〇
同	役場ヨリ何處へ何品 運送賃		貳拾七銭〇	
同	役場用椅子買入代		壹圓五拾銭〇	
同	給料 某外何人七月分		三拾九圓〇	
同	給料 某外何人七月分 假出ノ分精算		三圓五十銭〇	貳百十九圓八 錢〇

下二百八十八

本部
現金
出入
支差
ト引
トス
ト

年月日	摘要	受	拂	残
同三十一日	某外何人ヨリ地價割營業割反別 割收入	五拾三圓〇		
同	役場小使某外二人給料		拾五圓〇	
同	學校小使某外一人給料		拾圓〇	貳百四十七圓八 錢〇
年月日	摘要	受	拂	残
前葉	高 三百七十八圓〇		百三十四圓九十 貳錢〇	貳百四十七圓八 錢〇
締	高 三百七拾八圓〇		貳錢〇	
年月日	摘要	受	拂	残
七月一日	豫算	額五百圓〇		
同五日	火鉢五個買入代		貳圓五十銭〇	五百圓〇
同	半紙野何百枚代		壹圓五十銭〇	
同	視箱視共三個買入代		三拾銭〇	
同	卷紙何十本買入代		四拾五銭〇	四百九十六圓〇 十五銭〇

△地方税○戸長役場金銭出納條規并諸帳簿及計算表精算書式

下二百八十九

教員某何處へ出張旅費
 教員某何處へ出張旅費七月十日
 假出ノ分精算
 小使某外一人七月分給料
 椅子十五脚買入代
 テーブル何十脚買入代
 半紙野外壹廉買入代
 視箱視外壹廉買入代
 運送賃並椅子買入代
 役場小使某外何人給料

年月日	摘要	要受	拂	残
七月一日	豫算	額六拾圓〇		
同五日	椅子十五脚買入代		三圓五十錢〇	六拾圓〇
同十日	テーブル何十脚買入代		九圓五十錢〇	
七月一日	豫算	額百貳拾圓〇		
同十七日	教員某何處へ出張旅費		五圓六十錢〇	百拾四圓四拾錢〇
同十七日	教員某何處へ出張旅費七月十日 假出ノ分精算		三圓五十錢〇	百十圓九十錢〇
同三十一日	小使某外一人七月分給料		拾圓〇	百圓九十錢〇
七月一日	豫算	額四百八十圓〇		
同十七日	教員某及某七月分給料		三拾九圓〇	四百四拾壹圓〇
七月一日	豫算	額五百五拾圓〇		
同五日	半紙野外壹廉買入代		四圓〇	五百四十六圓〇
同十日	視箱視外壹廉買入代		三十五圓七十錢〇	五百一十圓貳十五錢〇
同十七日	運送賃並椅子買入代		壹圓七十七錢〇	五百一十八圓四十八錢〇
同三十一日	役場小使某外何人給料		十五圓〇	四百九十三圓四

△地方税〇戸長役場金銭出納條規并諸帳簿及計算表精算書式

同十七日 何處へ何品運送賃
 椅子五個買入代
 小使某外三人七月分給
 何所修繕費
 半紙野外壹廉買入代
 視箱視外壹廉買入代
 運送賃並椅子買入代
 役場小使某外何人給料

年月日	摘要	要受	拂	残
七月一日	豫算	額五拾圓〇		
同十日	何所修繕費		三拾五圓〇	五拾圓〇
七月一日	豫算	額五拾圓〇		
同五日	半紙野外壹廉買入代		四圓〇	五百四十六圓〇
同十日	視箱視外壹廉買入代		三十五圓七十錢〇	五百一十圓貳十五錢〇
同十七日	運送賃並椅子買入代		壹圓七十七錢〇	五百一十八圓四十八錢〇
同三十一日	役場小使某外何人給料		十五圓〇	四百九十三圓四

教育費合額

全	生徒試驗用筆何十本半紙筆何百枚買入代	三圓三十錢	四十三圓七十錢
年月日	摘要	拂	殘
十八年七月一日	豫算	額六百六十圓	
同五日	椅子買入代	三圓五拾錢	六百六十圓
同十日	教員某旅費外二廉	拾八圓四十錢	六百五十六圓五
同十七日	教員七月分給料外一廉	四十二圓五十錢	六百三十八圓十
同三十一日	小使給料	拾圓	六百九十九圓六
自明治 年 月 日			
至同 年 月 日			
地方稅內譯簿 何郡(區) 某戶長役場 乙號			
(此處ニ見出テ附スル戸長以下給付旅費内譯簿ニ同シ)			

下二百九十二

地租割

年月日	摘要	受	拂	殘
十八年七月一日	何某外何人ヨリ收入	十五(主任印以)		十五圓(主任印以)
同十日	何某外何十八ヨリ收入	百七十壹圓		百八十六圓
同十七日	區役所へ送納		百八(主任印以)六圓(下同)	〇
同三十一日	何某外何十八ヨリ收入	貳百五十圓		貳百五十圓
年月日	摘要	受	拂	殘
十八年七月五日	何某外何人ヨリ收入	五圓		五圓
同十日	何某外何拾八ヨリ收入	五拾七圓		六拾貳圓
同十七日	區役所へ送納		六拾貳圓	〇
同三十一日	何某外何十八ヨリ收入	百五拾圓		百五拾圓

營業稅

△地方稅〇戸長役場金錢出納條規并諸帳簿及計算表精算書式

丁二百九十三

雜種稅戶數割

年月日	摘要	受	拂	殘
十八年七月五日	何某外何人ヨリ收入	拾八圓〇		拾八圓〇
同十七日	區役所へ送納		拾八圓〇	〇
同三十一日	何某外何十人ヨリ收入	百〇圓〇		百〇圓〇
十八年七月一日	何某外何人ヨリ收入	貳拾圓〇		貳拾圓〇
同十一日	何某外何十人ヨリ收入	百八拾圓〇		貳百圓〇
同十七日	區役所へ送納		貳百圓〇	〇
同三十一日	何某外何十人ヨリ收入	貳百五拾圓〇		貳百五拾圓〇

下二百九十四

合計

年月日	摘要	受	拂	殘
十八年七月五日	地租割外三廉收入	五拾八圓〇		五拾八圓〇
同十日	地租割外二廉收入	四百八圓〇		四百六十六圓〇
同十七日	地租割外三廉收入		四百六十六圓〇	〇
同三十一日	地租割外三廉收入	七百五拾圓〇		七百五拾圓〇

△地方稅○戶長役場金錢出納條規並諸帳簿及計算表精算書式

下二百九十五

自明治
至全
年 年
月 月
日 日
假 出 簿

何郡(區)
某戶長役場

〔此處ニ見出テ付スル戸長以下
給料旅費内譯簿ニ同シ〕

戶長以下給料旅費

年月日	摘要	要假出金精算	算假出金現在額
十八年七月一日	戶長某何處へ出張旅費假出	壹圓六主任印 十錢〇以下同	壹圓六主任印 十錢〇以下同
同 十日	戶長某何處へ出張旅費精算 算ニ付本拂ニ更正	一圓六主任印 十錢〇以下同	〇
同 十七日	用掛某何處へ出張旅費假出	貳圓五十錢〇	二圓五十錢〇
同 三十一日	戶長某何處へ出張旅費假出 用掛某何處へ出張旅費假出 ノ分精算ノ上ニ四十四本拂 ニ更正殘金一圓返納	三圓二十錢〇	〇
同 十七日	教員某何處へ出張旅費假出 全上ノ分精算ニ付本拂ニ更正	三圓五十錢〇	三圓五十錢〇
同 十七日	同上	三四五十錢〇	七月十七日精算

教育費

合計

年月日	摘要	要假出金精算	算假出金現在額
十八年七月一日	戶長某旅費假出	壹圓六十錢〇	壹圓六十錢〇
同 十日	教員某旅費假出 戶長某旅費假出ノ分本拂ニ更正	三圓五十錢〇	五圓十錢〇
同 十七日	用掛某旅費假出 教員旅費假出ノ分本拂ニ更正	貳圓五十錢〇	三圓五十錢〇
同 三十一日	戶長某何處へ出張旅費假出 用掛某旅費假出ノ分本拂ニ更正	三圓二十錢〇	貳圓五十錢〇
同	同上	貳圓五十錢〇	三圓二十錢〇

△地方稅 ○戶長役場金銭出納條規并諸帳簿及計算表精算書式 下二百九十七

自明治 年 月 日
至同 年 月 日
備品受拂簿
何郡區
某戸長役場

(此處ニ見出テ附スル戸長以下
給料放費内譯簿ニ同シ)

椅子

年月日	摘要	在	受	拂	殘
七十八年一月一日	現	五脚(主任印以下同シ)			
同 十 日	買	三脚			八脚
同 廿二日	何々ニ付賣却			四脚(主任印以下同シ)	六脚
同 廿五日	買	三脚			
同 七 日	買	五脚			十二脚
同 十一日	何々ニ付賣却			四脚	八脚
同 二十五日	買	三脚			十一脚
七十八年一月一日	現	七脚			七脚

視 籍 災 鉢

年月日	摘要	在	受	拂	殘
七十八年一月一日	現	五個			五個
同 七 日	買	五個			十二個
同 十一日	何々ニ付賣却			四個	八個
同 二十五日	買	三個			十一個
七十八年一月一日	現	七個			七個

明治年月日計算表
出納主任 何 某
受入金 在 高 追テ支出スヘキ現金在 高
科目 金 員 程 戸長以下給料旅費 何 程
現 金 何 程

上段現金ハ現金受拂簿ノ殘額假出ハ假出簿ノ現在額ヲ記入シ
下段ハ各内譯簿ノ現金在高及假収簿ノ現金在高ヲ記入シ
上段下段ノ計金必ス同額ナルヲ要スヘシ

△地方精○戸長役場金錢出納條規并諸帳簿及計算表精算書式

假	出	何	程	何	程
				戶長役場費	何
				地方稅	何
				假	何
				収	何
				々	何
				計	何
				何(戶長印)程	何

明治年月日 (用紙ハ美濃野紙表紙ハ同白紙トス)

戸長以下給料旅費精算帳

某戸長役場

一金 (初月ノ書式)

元 受 高

明治何年何月何日

一金 (次月ニ取リ書式)

元 受 高

某(郡區)役所ヨリ領収

内	金	内	金	前月末決算高
				明治何年何月何日
				某(郡區)役所ヨリ領収
				決 算 高
				俸 給
				但戸長給料
				雜 給
				用掛給料
				筆生給料
				旅 費
				職務勉勵手當
				未 決 算 高
				返 納 高

右ハ明治何年何月分戸長以下給料旅費決算相違無之候也 (年度末ノ書式)

△地方税〇戸長役場金銭出納條規并諸帳簿及計算表精算書式

一 金
明治何年何月何日
某(郡區)役所へ納
右ハ明治何年何月分戸長以下給料旅費決算相違無之候就テハ何年度ニ属スル決算完結候也

明治何年何月何日
何郡(區)長某殿
某戸長 姓 名 印

明治何年何月分

戸長以下給料旅費精算帳附屬領收証

某 戸長 役 場

一金何程

但何月分又ハ何月前後半月分給料或ハ何々
右正ニ領収候也

明治何年何月何日
戸長 姓 名 印
某町村又ハ某町村(外何ヶ町村)

一金何程

但何月分又ハ前後半月分給料或ハ何々
右正ニ領収候也

明治何年何月何日
某町村又ハ某町村(外何ヶ町村)
名 印

證

一金何程

但何月何日何々ニ付何地へ出張翌何日同地滞在何日同地ヲ發シ歸町(村)合里程
何里滞在何日(此ノ如ク旅行ノ模様ヲ詳記スヘシ)
右正ニ領収候也

明治何年何月何日
某町(村)又ハ某町(村)外何ヶ町村
戸長役場御中
(戸長用掛筆生) 姓 名 印

△地方税〇戸長役場金銭出納條規并諸帳簿及計算表精算書式

備荒儲蓄規則 并備荒儲蓄公儲金収納順序

現行

●明治十八年五月廿一日甲第四十壹號達
明治十八年度區部郡部備荒儲蓄規則本年通常會ノ議決ヲ經內務大藏兩卿ノ認可ヲ得テ別冊ニ通相定メ本年七月一日ヨリ施行ス 右布達候事
(別冊)

明治十八年度備荒儲蓄規則

第一條 備荒儲蓄金ハ配付金ト公儲金トヲ合シテ大阪府區部備荒儲蓄金ト稱ス

第二條 公儲金ハ地租ト戸數トニ關シテ其乘率左ノ如キ

第三條 公儲金不納又ハ免除等ノ爲メ配付金ニ對シテ不足ヲ生スルキハ翌年度ニ於テ之

第四條 公儲金ハ本年七月一日ヨリ同月三十一日迄ニ戸長役場ニ納ムヘシ

第五條 公儲金徵收期限前此規則ニ據リ給與ヲ受ケタル者ハ本年度ノ公儲金ヲ免除ス

但已ニ徵收シタルモノハ返付セズ

第六條 本年度儲蓄金總額ノ内凡ソ十分ノ一分ハ現金ヲ以テ備ヘ置キ一分ハ米穀ヲ購

第七條 米穀ハ穀ヲ以テ儲蓄ス

第八條 米穀ハ區内便宜ノ地ニ貯積シ公債證書ハ府廳ニ儲蓄ス現金ハ府廳ニ備置シ諸

第九條 儲蓄米穀ハ凶年飢饉ニ當テ窮民ニ給與シ或ハ賣却貸與スルノ外廢他其他損害

第十條 儲給與其他費用ノ多寡ニ因リ現金ニ剩餘アリト認ムルキハ公債證書ニ交換シ

第十一條 食料ハ非常ノ凶荒不慮ノ災害ニ罹リ自ラ生存スル能ハサル者ニ限り日數三

第十二條 小屋掛料ハ罹災ノ爲メ家屋ヲ亡失シ自ラ小屋掛ヲ營ム能ハサル者ニ限り一

第十三條 農具料種穀料ハ罹災ノ爲メ農具又ハ種穀ヲ亡失シ自ラ之ヲ辨スル能ハサル

△地方稅○備荒儲蓄規則並備荒儲蓄公儲金収納順序

モノニ限り一戸各金拾圓以内ヲ給ス

第十四條 罹災ノ爲メ目下凍餒ニ迫ル者アルハ第十一條ノ制限ニ從ヒ日數十日以内
焚出米ヲ給シ第十二條ノ制限内ニ於テ小屋掛ヲ設ケ一時ノ急ヲ救フコトアルヘシ
但焚出ニ要スル諸費ハ實費ヲ支辨ス

第十五條 第十四條ノ焚出米ヲ給シタル者尙飢渴ヲ免レサルハ日數二十日以内食料
ヲ給スルコトアルヘシ

第十六條 罹災ノ爲メ土地家屋ヲ賣却スルニ非サレハ地租ヲ納ムル能ハサル者ニ限り
其地租ヲ補助及貸與ス

第十七條 第十六條ノ給與ヲ受ケタル者重テ地租ノ補助貸與ヲ受ケタルハ舊貸與金ハ
三ヶ年以内ノ延納ヲ與ヘ又ハ其全部若クハ幾分ヲ棄捐スルコトアルヘシ
但重テ地租ノ補助及貸與ヲ受ケタル者ニアラズト雖モ事實貧困ニシテ返納ニ堪ヘ

第十八條 此規則ニ據リ給與ヲ受ケントスル者ハ罹災ノ狀況等ヲ詳悉シ戸長ヲ經テ區
長ニ申出ツ可キ事

第十九條 儲蓄金ヲ出納シ地方稅収田精算ノ手續ニ準テ通常區部會ニ報告スヘシ

明治十八年度郡部備考儲蓄規則

第一條 備荒儲蓄金ハ配付金ト公儲金トヲ合シテ大坂府郡部備荒儲蓄金ト稱ス
第二條 公儲金ハ地租ニ賦課ス其乘率左ノ如シ
地租壹圓ニ付金壹錢六厘五毛

第三條 公儲金不納又ハ免除等ノ爲メ配付金ニ對シ不足ヲ生スルハ翌年度ニ於テ之
ノヲ補充ス

第四條 公儲金ハ本年七月一日ヨリ全月三十一日迄ニ戸長役場ニ納ムヘシ
第五條 公儲金徵收期限前此規則ニ由リ給與ヲ受ケタル者ハ本年度ノ公儲金ヲ免除ス
但已ニ徵收シタルモノハ返付セス

第六條 本年度公儲金總額ノ内凡ソ十分ノ〇七八現金ヲ以テ備ヘ置一分ハ米穀ヲ購入
シ八分三厘ハ公債證書ニ交換ス

第七條 米穀ハ糶ヲ以テ貯蓄ス
但糶欠乏ノ場合ニ於テハ現米ヲ以テ貯蓄スルコトアルヘシ

第八條 米穀ハ各國ノ人口ニ割當テ大和國ニ二ヶ所攝河泉各一ヶ所ツ、便宜ノ地ニ貯
積シ公債證書ハ府廳ニ儲蓄ス現金ハ府廳及郡區役所ニ備置キ諸給與其他貯蓄ニ關ス
ル一切ノ費用ニ充ツヘシ

第九條 貯蓄米穀ハ給與又ハ賣却貸附スルノ外腐蝕等ノ損害アルニアラサレハ新穀ト
交換セス

△地方稅○備荒儲蓄規則並備荒儲蓄公儲金収納順序

第十條 諸給與其他費用ノ多寡ニヨリ現金ニ剩餘アリト認ムルキハ公債証書ニ交換シ若シ不足スルキハ公債証書ヲ賣却ス

第十一條 貯蓄米穀ハ凶年飢饉若クハ罹災ノ爲メ種穀亡失セシ時ニ當リ賣却貸附スルヲアルヘシ

第十二條 食料ハ非常ノ凶荒不慮ノ災害ニ罹リ自ラ生存スル能ハサル者ニ限り日數三十日以内男一人一日玄米五合七十歳以上十五歳未満者ハ女ノ割合ニヨル女一人一日玄米四合ノ割合ヲ以テ該地玄米時價ニ換ヘ之ヲ給ス 但時宜ニ由リ玄米ヲ給スルヲアルヘシ

第十三條 小屋掛料ハ罹災ノ爲メ家屋ヲ亡失シ自ラ小屋掛ヲ營ム能ハサル者ニ限り自家住居ノ者ハ一戸金拾圓以内借家居住ノ者ハ一戸金七圓以内ヲ給ス

第十四條 農具料種穀料ハ罹災ノ爲メ農具又ハ種穀ヲ亡失シ自ラ之ヲ辨スル能ハサル者ニ限り一戸各金拾圓以内ヲ給ス

第十五條 罹災ノ爲メ目下凍餓ニ迫ル者アルキハ第十二條ノ制限ニ從ヒ日數十日以内焚出米ヲ給シ又ハ第十三條ノ制限内ニ於テ小屋掛ヲ設ケ一時ノ急ヲ救フヲアルヘシ 但焚出ニ要スル諸費ハ實費ヲ支辨ス

第十六條 第十五條ノ焚出米ヲ給シタル者尙ホ飢渴ヲ免レサルキハ日數二十日以内限食料ヲ給スルヲアルヘシ

第十七條 罹災ノ爲メ土地家屋ヲ賣却スルニアラサレバ地租ヲ納ムル能ハサル者ニ限

其地租ヲ補助及ビ貸與ス

但貸與金ハ無利息五ヶ年以内ノ年賦ヲ以テ返納セシムルモノトス

第十八條 第十七條ノ給與ヲ受ケタル者其返納期限中重テ地租ノ補助貸與ヲ受ケタル

キハ舊貸與金ハ三ヶ年以内ノ延納ヲ與ヘ又ハ其全部若クハ幾分ヲ棄捐スルヲアルヘシ 但重テ地租ノ補助貸與ヲ受ケタル者ニ非スト雖モ事實貧困ニシテ返納ニ堪ヘサル者ハ審査ノ上其全部若クハ幾分ヲ三ヶ年以内延納ヲ與フルヲアルヘシ

第十九條 此規則ニ由リ給與ヲ受ケントスル者ハ罹災ノ狀況ヲ詳具シ戸長ヲ經テ郡區長ニ申出ヘシ

第二十條 儲蓄金ノ出納ハ地方稅収出精算ノ手續ニ準シ通常郡部會ニ報告スヘシ

●明治十八年二月二十四日乙第二十八號郡區役所戸長役場へ達
備荒儲蓄公儲金収納順序ハ本年(二月)當府乙第三號達地方稅金収納順序ニ準シ可取扱此旨相達候事

備荒儲蓄規則取扱手續

△地方稅○備荒儲蓄規則取扱手續

現行

●明治十八年六月二日乙第七十號郡區役所へ達
 備荒貯蓄規則取扱手續別冊ノ通改正シ本年七月一日ヨリ施行ス 右相達候事
 (別冊)

備荒貯蓄規則取扱手續

- 一 公儲蓄金ノ収納順序ハ十八年當府乙第三號達ニ準シ取扱フヘシ
- 一 公儲金ヲ免除セントスルハ人名金額事由等ヲ詳記シ其時々伺出ヘシ
- 一 公儲金ノ徴収完納ニ至ラバ精算帳(第一號書式)ヲ製シ毎年六月三十日迄ニ差出スヘシ
- 一 食料小屋掛料農具料種穀料ヲ給與シ若クハ地租ヲ補助貸與セントスルハ先ツ戸長
 ナリテ實地ヲ調査シ然レ尙其事責ヲ審査シ人名金額狀況等ヲ具シ
 三號書式 稟請スヘシ
- 一 但急遽ノ災害ニ當テ焚出米ヲ給シ又ハ小屋掛料假設スル等急施ヲ要スルハ先ツ
 其旨ヲ開申シテ郡區長限施行スルコトヲ得此場合於テハ施行後五日以内ニ其顛末
 ナリテ書式 第四號 費用ヲ請求スヘシ
- 一 地租貸與金ヲ本人ノ下附シ證書ヲ徴シタル上テ一人別年賦返納額明細表 書式 第五號
 ナリテ製出スヘシ
- 一 地租貸與返納金以延期又ハ棄捐ヲ爲ストスルハ人名金額事由等ヲ詳記 地租貸與金延
 六號書式 其時々稟請スヘシ

- 一 事故ナクシテ地租貸與金ヲ怠納スル者ハ其筋ノ裁判ニ附スヘシト雖モ先ツ其人名金
 額事由等ヲ詳具シ指揮ヲ請フヘシ
- 一 地租貸與返納金ハ毎年一月卅一日限り取纏メ上納仕譯書 第七號書式 ヲ添ヘ送納ス可シ
- 一 第四項ニ掲グル費用ノ外ト雖モ金員ノ支出ヲ要スルハ其時々稟請ス可シ
 但藏敷料藏番給ハ稟請ニ及ハスト雖モ倉庫ノ所在及受取人名月數等ヲ詳記シ其金
 額ヲ請求スヘシ
- 一 第四項但書ノ費用ニ充ツル爲メ毎年度ノ初メニ於テ備金ヲ下附スヘキニ付年度尾ニ
 至テ現在ノ備金ハ一旦之ヲ返納スヘシ
- 一 備荒儲蓄倉所在地ノ郡區長ハ常ニ藏番人ノ勤惰ヲ監督シ非常ノ事變アルニ當テハ臨
 機倉庫ニ避害ノ處分ヲ爲スヘシ
- 一 郡區役所ハ地租貸與金ニ關スル諸帳簿ヲ備ヘ置常ニ増減變更ヲ明瞭アラシムヘシ

第一號ノ一

(用紙ハ美濃野表裏ハ白紙)

明治何年度公儲金收入精算帳

何郡 (區) 役所

△地方稅○備荒儲蓄規則取扱手續

(區部ノ例)

一金何程

公儲金

内譯

但何區何百何十何町

地租金何程

地租ニ賦課ノ分
但地租壹圓ニ付金何程

内

地租金何程

戸數何程

不納ニ付公賣處分ノ未徴収

金何程

戸數ニ賦課ノ分

外

金何程

但戸數一戸ニ付金何程

右ハ明治何年度公儲金収入高書面ノ通相違無之因テ別紙不納損失及免除明細表相添此段報告候也

何年月日

府知事宛

何區長 氏

名印

(郡部ノ例)

地租金何程

一金何程

内譯

公儲金

地租金何程

金何程

何郡(何百何村何何町)

地租金何程

金何程

不納ニ付公賣處分ノ未徴収

金何圓

何郡(何百何村何何町)

地租金何程

平金何程

右ハ明治何年度公儲金収入高書面ノ通相違無之因テ別紙不納損失及免除明細表相添報

△地方税○借荒儲蓄規則取扱手續

告候也

年月日

大阪府知事宛

何郡(區)長 氏

名印

第一號ノ二

(用紙ハ美濃野表裏ハ白厚紙)

明治何年度公儲金不納損失及免除明細表

何郡(區)役所

(郡部ノ總テ戸數ヲ除ク)

明治何年度公儲金不納損失及免除明細表

不納者處分	地租	不納額	公費代價過剩下戻額	損失額	徴収額	籍氏	名
何	何	何	何	何	何	何	某
計	何	何	何	何	何	何	人

免除事由 地租戸數 免除金額 族

何年何月何日何々 給與又ハ貸與 何 程 何 圓 何郡(區)町(村)番地 籍氏 何 某

計	地租金何圓	戸數何戸	何	圓	何	籍氏	何
							人

右ハ明治何年度公儲金不納損失及免除明細書面之通相違無之候也

年月日 何郡(區)長 氏 名印

(第二號ノ一) 大阪府知事宛 何災ニ罹リタル窮民救助ノ議ニ付稟請 (一)ハ朱書

一金何程 災害ノ異ル毎ニ別 項ニ記載スヘシ

何災救助

但何郡(區)何村(町)何某外何名 戸主數ヲ記 載スヘシ

金何程

食料

但壹石ニ付金何程

此米何程

但十五年以上七十年未滿 男何人何日分(日數ノ異アルモノハ如此)

金何程

小屋掛料

△地方稅○備荒儲蓄規則取扱手續

但何郡何村何某外何名分何戸ハ一戸ニ付何圓一戸ハ何圓

(農具料種穀料モ此例ニ倣フ)

右ハ何々、々、(災害ノ年月日及狀況ヲ詳記スヘシ)、々、々、調査候處書面ノ通相

年 月 日

郡(區)長 氏

名 印

大阪府知事宛

第二號之二

何災救助一人別明細表

種目	給與金額	要		籍	籍戸主名
		男	女		
食料何程	何	十五年以上	女及十五	何	何
種穀料何程	何	未滿	男	何	何
農具料何程	何			何	何
計	何			何	何

町		村		郡		計		總計	
食料何程	何	食料何程	何	食料何程	何	食料何程	何	食料何程	何
小屋掛料何程	何	小屋掛料何程	何	小屋掛料何程	何	小屋掛料何程	何	小屋掛料何程	何
農具料何程	何	農具料何程	何	農具料何程	何	農具料何程	何	農具料何程	何
種穀料何程	何	種穀料何程	何	種穀料何程	何	種穀料何程	何	種穀料何程	何
計	何	計	何	計	何	計	何	計	何

△地方稅○備荒儲蓄規則取扱手續

第六號ノ一

一金何程

地租賃與金返納延期ノ義ニ付稟請

何年何月返納スヘキ分

但何郡(區)何町(村)何某外何名分別紙一人別表ノ通

右ハ何々(事由)詳記)、)、)、ニ付本期返納スヘキ分上納難致旨ヲ以テ延期出願ニ付取調候處事實相違無之ニ付別表ノ如ク何郡(區)何町(村)某外何名ハ何年何月迄何々ハ何々迄延期御開届相成度此段稟請候也

年月日

大阪府知事宛

郡(區)長 氏

名印

第六號ノ二

地租賃與金何年何月返納分延期明細表

村計 郡計 合計

貸在	高	納何年何月何日	納何年何月何日	納何年何月何日	納何年何月何日	郡區町村番地	人名
、	、	、	、	、	、	、	、
、	、	、	、	、	、	、	何
、	、	、	、	、	、	、	何
、	、	、	、	、	、	、	何
、	、	、	、	、	、	、	人
、	、	、	、	、	、	、	人
、	、	、	、	、	、	、	人
、	、	、	、	、	、	、	人
、	、	、	、	、	、	、	人
、	、	、	、	、	、	、	人
、	、	、	、	、	、	、	人

右ノ通候也

年月日

大阪府知事宛

郡(區)長 氏

名印

第七號

高金何程

地租賃與返納金明治何年何月分上納仕譯書

「一八」朱書

一金何程

「普通年賦ヲ以テ返納セシ金額但返納期ニ内納テセシ分及其期ニ於テ後年ノ分ヲ一時ニ返納セシモノモ此内ニ入セ」

地租賃與返納金

内譯

金何程

何郡何村 何某

金何程

何郡何村 何某

金何程

何郡何村 何某

外

一時上納及身代限配當金

金何程

内

金何程

「返納期限前上納セシモノ」

何郡何村某一時上納

何郡何村某身代限配當金

△地方稅○備荒儲蓄規則取扱手續

金何程

内

不納高

金何程

金何程

金何程

「重テ地租ノ補助貸與ヲ受ケタル者ノ舊貸與金ヲ棄捐シタルモノ」

何郡何村某身代限損失

何郡何村某重救棄捐

延期出願中

但何月何日附稟請書ノ通

出訴中

金何程

金何程

右ハ何年何月納地租貸與返納金書面之通候也

何郡何村 何某
何郡何村 何某

年月日

郡(區)長

氏

名印

大阪府知事宛

區郡部備荒儲蓄金出納精算書 十六年度

大坂府知事宛

區郡部

日

日

●明治十八年四月十四日示第七拾三號達
明治十六年度區郡部備荒儲蓄金出納精算別紙ノ通結了ス
右告示候事

入金 一金壹万八千三百壹圓九拾九錢貳厘

内譯

金壹万四千四百八拾壹圓八拾七錢七厘

金貳千三百五拾壹圓八拾六錢六厘

金貳千四百拾五圓

金九百貳拾壹圓貳拾錢

金九百貳拾三圓八拾四錢九厘

金四百七拾八圓貳拾錢

内譯

金三千五百五拾九圓三拾三錢壹厘

金三百四拾貳圓三拾九錢五厘

金三百六拾四圓拾壹錢

金三百五拾六圓九錢

金六圓

金拾壹圓四拾錢三厘

金千貳百三拾九圓三拾三錢三厘

前年度ヨリ越高

公債付金

配付金

公債証書利子

米穀賣却代

雜費

火災救助

米穀賣却

米穀欠

藏穀番出

運送費

△地方稅○區郡部備荒儲蓄金出納精算書

一金壹万四千七百四拾貳圓六拾六錢壹厘

內譯
現金九拾六圓三拾三錢七厘
米穀代價三千三百七拾圓拾錢壹厘

此米穀代價壹万九千七百七拾九圓九拾九錢九厘
此公債証書代價壹万四千四百六拾圓

●明治十八年四月十四日示第七拾四號達
明治十六年度郡部備荒儲蓄金出納精算別紙ノ通結了ス

右告示候事

一金三拾五万七千六百貳拾四圓三拾壹錢三厘

內譯
金貳拾貳万九千六百五拾八圓拾六錢三厘
金四万三千九百八拾六圓四拾九錢八厘

金壹万八千貳百拾四圓四拾六錢四厘
金四萬圓

金壹万八千七拾三圓八拾貳錢貳厘
金貳拾八圓九錢壹厘

支
金貳拾七錢五厘
支
金八万五千四百九圓貳拾五錢三厘

火災
米穀
公債
前年度
配
公債
公債
米穀
地租
雜

火災助
米穀助
公債助
前年度助
配助
公債助
公債助
米穀助
地租助
雜助

內譯
金貳百三拾五圓九錢四厘

金六拾圓拾錢

金三千三拾四圓九拾三錢三厘

金三万七千五百九拾七圓九拾壹錢九厘

金三万七千九拾壹圓拾三錢壹厘

金三千八圓拾五錢

金五百三拾六圓八拾錢八厘

金三百貳拾七圓八拾九錢貳厘

金三百九圓七拾錢五厘

一金貳拾七万貳千貳百拾五圓六錢

內譯
現金七千七拾貳圓八錢壹厘
米穀代價六万七千六拾九圓八拾四錢三厘
此米穀代價九千九拾四石七斗五升壹合
公債証書代價九万八千七拾三圓拾三錢六厘
此公債証書額面貳拾五万六千五百四拾圓

火災助
風災助
水災助
旱災助
旱災助
米穀助
米穀助
公債助
公債助
藏助
藏助
雜助

類聚大阪府布達全書第二編第五卷終

△地方稅○備荒儲蓄規則取扱手續

類聚大阪府布達全書第二編第六卷
學務部
學務

類聚大阪府布達全書第二編第六卷

學務部

學務

大阪府教育會規則

現行

●明治十八年六月十九日甲第五十三號布達
當府教育會規則別紙ノ通相定ム
(別紙) 大阪府教育會規則

第一章 總則

第一條 本會ハ教育ノ改良進歩ヲ計ルタメ設立スルモノトス
第二條 會員ハ左ノ職員ヲ以テ編成シ尙ホ議事ノ都合ニ依リ郡區各別之ヲ分ツアル

△學務○大阪府教育會規則

但郡區各別開會スルハ府立學校長ノ外郡區ノ別ニ就キ職員ヲ分ツ者トス
郡區長 拾八名

但事故アルハ學務擔任書記ヲシテ代理セシムルヲ得

府立師範學校長 四名 府立中學校長 三名

府會議員 拾八名 學務委員 拾八名

町村立小學校長又ハ首座教員 拾八名

第三條 府會議員學務委員ハ每郡區役所部内ニ於テ一名ヲ府會議員學務委員中ニ就キ互擧セシム

但一郡區役所部内ニ於テ府會議員二名ナルハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ムヘシ 町村立小學校長首座教員ハ每郡區役所部内各小學校長又ハ首座教員ニテ一名ヲ互擧セシム

第四條 府會議員ニシテ學務委員ヲ兼ヌル者双方ヨリ會員ニ選舉セラレタルハ其何レノ資格ヲ以テ應スルモ本人ノ意ニ任ス尤モ此場合ニ於テハ更ニ次札ノモノヲ以テ其員ニ補充スヘシ

第五條 本會ノ議案ハ府知事之ヲ覆ス

但會員中意見ヲ提出シ過半數ノ賛成ヲ得タルハ調査ノ上議案トナスコトアルヘシ 第六條 會長ハ府知事之ヲ務メ副會長ハ會員中ヨリ投票ヲ以テ之ヲ撰定スルモノトス

第七條 本會ノ書記ハ府知事之ヲ撰任シ會議一切ノ庶務ヲ整理セシム

第八條 本會ハ毎年一回以上之ヲ開ク會期ハ七日以内トシ其開閉ハ府廳ヨリ之ヲ告示ス

第九條 郡區各別開會スルハ其會員中ニ就キ別ニ副會長ヲ撰定スヘシ

第十條 會長ハ學務課吏員ヲシテ議案ノ旨趣ヲ辨明セシム 但可否ノ數ニ入ルヲ得ス

第十一條 本會ハ府知事ヨリ諮詢ヲ要スルコトアルハ之ヲ議スルモノトス

第十二條 會員任期ハ郡區長府立師範學校 滿三ヶ年トナシ滿期コトニ之ヲ改撰ス 但前任者ヲ再撰スルコトヲ得ル

第十三條 會員ハ其本分ノ任ヲ止メタルハ會員ノ資格ヲ失ヒタル者トス

第十四條 副會長ノ任期ハ三ヶ年トシ會員改撰コトノ後會ニ於テ之ヲ撰定スヘシ

第十五條 府會議員學務委員並ニ町村立小學校長首座教員等互擧ノ手續ハ郡區長ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第十六條 會員 郡區長 會期中滯在日當及ヒ往復旅費ヲ支給ス 但片道三里未滿ノ者ハ旅費ヲ支給セス

第二章 議 則

第十七條 會員半數以上出席セサレハ當日ノ會議ヲ開クヲ得ス

第十八條 議事ハ過半數ニ依テ決ス可否同數ナルハ會長之ヲ決ス

△學務○大坂府教育會規則

第十九條 會員ハ議事ニ當リ人身上ニ就キ褒貶毀譽ニ涉ルヲ得ス
第二十條 會長事故アリ副會長代理スルハ意見アレハ會員ヲシテ代理セシメ會員席ニ就キ發言スヘシ

第廿壹條 會長副會長共ニ欠席スルハ臨時會員中ニ於テ假會長ヲ撰定スヘシ
第廿二條 會場ノ整理ハ會長之ヲ掌リ若シ規則ニ背キ會長之ヲ制止スルモ其命ニ順ハサル者ハ會場外ニ退去セシム

第三章 傍聽

第廿三條 議事ハ傍聽ヲ許スト雖モ時宜ニ依リ會長ノ見込又ハ會員半数以上ノ請求ニヨリ之ヲ禁スルコトアルヘシ
第廿四條 傍聽中ハ談話喫煙及猥リニ議場ニ出入スルヲ許サス

中學及師範學校免許規程中改正

現行

●明治十八年十二月十九日示第貳百七拾三號達

明治十七年(十二月)當府示第百三拾六號中學校師範學校教員免許規程中左ノ通改正セラル

一 中學校師範學校教員免許規程手續第二條第一項卒業證書云々ノ上ニ(學位記)ノ三字ヲ加フ

一 全教員免許規程第一條中(中學師範學科若クハ大學科ノ卒業證書ヲ有セスシテ)ノ二十三字ヲ削除ス

一 全第三條但書第三項某學科云々ノ上ニ(某學位記若クハ)ノ七字ヲ加フ

一 全第五條ヲ削ル

一 全(第六條)ヲ(第五條)トシ以下順次繰上ケ

町村立學校職員任免手續中增加並小學教員免許規則

現行

●明治十八年三月三十日乙第三拾五號郡區役所戶長役場學務委員へ達
明治十五年(五月)當府乙第六拾號達町村立學校職員任免手續第十一條第五款ノ次ニ左

△學務○町村立學校職員任免手續中增加并小學教員免許規則 下三百三十三

現行

ノ一 款增加候條此旨相違候事

第六款ハ賭博犯處分規則ニ依リ徵罰ニ處セラレタル者

●明治十八年六月十五日甲第五十號達

明治十五年^月ニ當府甲第二十二號布達小學校教員免許規則別紙ノ通り改定シ來ル七月一日ヨリ施行ス 右布達候事

(別紙)

小學教員免許規則

第一條 官公立師範學校ノ卒業證書ヲ有セスシテ小學教員タラント欲スル者ハ左ノ學力檢定ノ上初等科合格ノ者ニハ初等科教員免許狀ヲ授與シ中等科合格ノ者ニハ中等科教員免許狀ヲ授與シ高等科合格ノ者ニハ高等科教員免許狀ヲ授與スヘシ

- 初等科
 - 修身
 - 讀方
 - 作文
 - 習字
 - 算術
 - 地理
 - 歴史
 - 圖書
 - 物理
 - 實地授業
- 中等科
 - 修身
 - 讀方
 - 作文
 - 習字
 - 算術
 - 地理
 - 歴史
 - 圖書
 - 生理
 - 博物

- 物理
- 幾何
- 簿記
- 簿
- 算術
- 實地授業

第二條 高等科教員免許狀ヲ與ヘタル者ハ各等科教員タルヲ得ヘク中等科教員免許狀ヲ與ヘタル者ハ初等科教員タルヲ得ヘシ

第三條 第一條合格ノ教員ヲ得難キ地方ノ小學校ニ於テハ一學科若クハ數學科ヲ教授シ得ル者ヲ合セテ合格教員ニ代用スルヲ許スアルヘシ此場合ニ於テハ各自ノ學力ヲ檢定シ其學科ノ教員免許狀ヲ授與スヘシ

第四條 農業工業商業英語裁縫家事經濟容儀体操等ノ學科ニ關シテハ前條ノ場合ニ非ルモ特ニ學力ヲ檢定シ一科若クハ數科ノ教授免許狀ヲ授與スヘシ第五條小學校教員ニ非テ變更セシカ爲メ教員免許狀及某學科教授免許狀モ亦變更セサルヲ得スト認ムル場合ニ於テハ有効年限内ト雖モ更ニ其要スル所ノ學力ヲ檢定シ免許狀ヲ補正スヘシ

第六條 碩學老儒等ノ德望アリテ修身科ノ教授ヲ善クスル者若クハ農業工業商業等ノ

△學務○町村立學校職員任免手續中增加並小學教員免許規則 下三百三十五

學術ニ長スル者ハ文部卿ノ認可ヲ經學力檢定ヲ要セス特ニ該學科教授免許狀ヲ授與スルヲアルヘシ

第七條 小學校補助員ヲシテ欲スル者ハ初等科中脩身讀方作文習字算術等ノ學力ヲ檢定シ補助員免許狀ヲ授與スヘシ

第八條 各免許狀ノ有効年限ハ五年トシ滿期ノ上ハ更ニ學力ヲ檢定シ免許狀ヲ授與スヘシ 但第六條ニ據リ授與スル教授免狀ハ有効年限ヲ定メス

第九條 年齡十八年未滿ノ者ニハ各免許狀ヲ授與セス但年五年以上ニシテ特ニ其任ニ堪フト認ルモノハ補助員免許狀ヲ授與スルヲアルヘシ

第十條 左ノ一款若クハ數款ニ觸ル、者ニハ各免許狀ヲ授與セス又既ニ免許狀ヲ授與セシ後之ニ觸ル、行爲アレハ直ニ沒収スヘシ

第一款 舊法ニ依リ懲役若クハ禁錮若クハ鎖鎖ノ刑ヲ受ケタル者
但贖金罰金ヲ納ムル能ハスシテ本文ノ刑ニ處セラレタル者ハ此限ニ非ス

第二款 前款ノ刑ヲ受テ存留養親老小癡疾婦女等ノ故ヲ以テ収贖ヲ聽サレタル者

第三款 新法ニ依リ輕重禁錮以上ノ刑ニ處セラレ若クハ信用又ハ風俗ヲ害スル罪ヲ犯シテ罰金ノ刑ニ處セラレ若クハ監視ニ付セラレタル者
但信用又ハ風俗ヲ害スル罪ニアラサルモノヲ犯シ罰金ヲ納ムルヲ能ハスシテ輕禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ハ此限ニアラス

第四款 賭博犯處分規則ニ依リ懲罰ニ處セラレタル者

第五款 身代限ノ處分ヲ受ケ未タ辨償ノ義務ヲ終ヘサル者

第六款 荒鹵暴激等總テ教員タルノ面目ニ關スル汚行アル者

第十一條 此規則ニ依リ免許狀ヲ與ヘタル者ヲ公立小學校ニ採用スルハ各等科教員免許狀若クハ第六條ニ依リ與ヘタル某學科教授免許狀所有ノ者ハ訓練トナシ其他ノ教授免許狀所有ノ者ハ準訓練トナシ補助免許狀所有ノ者ハ助教トナスヘシ

第十二條 此規則ニ依リ授與スル各免許狀ノ書式左ノ如シ

(割印及番號朱書)

<p>番號</p> <p>教員免許狀</p> <p>割印 本貫族籍</p> <p>姓 名</p> <p>年 齡</p> <p>右學力檢定ノ上五ヶ年間小學何等科教員タルヲ免許スル者也</p> <p>年 月 日</p>	<p>番號</p> <p>教授免許狀</p> <p>割印 本貫族籍</p> <p>姓 名</p> <p>年 齡</p> <p>右學力檢定ノ上五ヶ年間小學何等科教授免許スル者也</p> <p>年 月 日</p>
---	--

△學務○町村立學校職員任免手續中增加并小學校教員免許規則

大阪府

番號

教授免許狀

本貫族籍

姓名

年齡

割印

右小學何等何々科教授免許スル者也

年月日

大阪府

大阪府

(割印及番號朱書)

番號

補助員免許狀

本貫族籍

姓名

年齡

割印

右學力檢定ノ上五箇年間小學補助員タルヲ免許スル者也

年月日

大阪府

現行

●明治十八年七月九日示第四百拾壹號達
今般當府甲第五拾號布達ヲ以テ小學校教員免許規則改定候ニ付テハ從前授與シタル初等科教員免許狀教授免許狀補助員免許狀等有効年限ハ右ニ準シ五ヶ年トス右告示候事

現行

小學校教員學力檢定手續

●明治十八年八月十七日示第六百六十九號達

本年(六月)甲第五十號ヲ以テ小學校教員免許規則改正ノ儀布達候ニ付學力檢定手續別紙ノ通相定ム 右告示候事

小學校教員學力檢定手續

○檢定

第一條 學力檢定ヲ分テ初等中等高等ノ三科トス其科目程度問數時限等別紙ノ如シ

第二條 檢定ハ一回一等科ニ限リ先ツ初等科ヨリ始ムト雖モ既ニ初等科教員免許狀ヲ與ヘタル者ハ直ニ高等科ノ檢定ヲ乞フヲ得ヘシ 但小學校教員免許規則第三條第四條ノ場合ニ於テハ各等科同時ニ檢定スルコトアルヘシ

第三條 一學科若クハ數學科ノ教授免許狀ヲ與ヘタル者ニシテ更ニ教員免許狀ヲ得ントスルトキハ別紙課程表ノ全學科ヲ檢定スヘシ

△學務○小學校教員學力檢定手續

第四條 裁縫家事經濟容儀等ノ檢定ハ女子ニ限リ體操ノ檢定ハ男子ニ限ル

第五條 檢定期月及場所左ノ如シ

教員免許志願者

(三) (月) (九)

(月)

府立各師範學校

教授免許志願者

(一月三月五月) (七月九月十一月)

府立大阪師範學校

補助員免許志願者 (同) (前)

府立各師範學校

第六條 各等一學科定點ヲ一百トシ其得點五分以上ニシテ各學科ノ平均點數六分以上ノモノヲ該等科教員合格トシ一學科若クハ數學科ノ得點五分以上ノモノヲ該學科ノ教授ニ堪フルモノトス各學科ノ得點四分以上ノモノヲ補助員合格トス

第七條 學力檢定ヲ受ケントスル者ハ第五條定期前月二十日限リ左ノ書式ニ依リ郡區長ニ願出ヘシ

書式

學力檢定願

自分儀當府下小學校教員志願ニ付何等科(何等某學科)學力御檢定ノ上教員(教授)免許狀授與相成候様御取計相成度依テ履歷書相添此段願上候也

△小學校教員免許規則第三條ノ場合ニ於テハ本文當府下ノ下郡名學校名ヲ記入シ該區學務委員ノ連署ヲ要ス又補助員志願ノ者ハ本文教員ノ文字ヲ補助員ニ改メ何等科ノ文字ヲ省クヘシ

△ハ朱書

年月日

何郡區何町村何番地族籍△(寄留人ハ本籍並ニ寄留地ヲ併記スヘシ)

姓 名 印

前書之通願出候ニ付取調候處小學校教員免許規則第十條ニ抵觸ノ者ニ無之候也

戶長 姓 名 印

郡區長 宛

履歷書

何郡區何町村何番地族籍△(寄留人ハ本籍并ニ寄留地ヲ併記スヘシ)

姓 名 印

何年何月出生

一何年何月ヨリ何年何月迄何學校ニ於テ何學修業若クハ何所何某ニ就キ何學ヲ修ム
一何年何月何府縣小學校何等科教員免許狀若クハ某學科教授免許狀受領
一何年何月何府縣何等訓導若クハ準訓導助教拜命何學校在勤何年何月辭職其他總テ右ニ準シ詳記シ免許狀等所有ノ者ハ其寫ヲ添フヘシ

○受験人心得

第八條 答書ノ用紙及ヒ筆墨算盤等ハ各自携帯スヘシ

第九條 檢定ノ始メ檢定係ヨリ番號牌二葉ヲ配付スルニ付其裏面ニ各自ノ姓名年齢ヲ記載捺印シ其一葉ハ檢定係ニ差出シ一葉ハ檢定中所持スヘシ

△學務○小學校教員學力檢定手續

第十條 答書ノ初メニハ必ス其學科目及ヒ自己ノ番號ヲ記シ姓名ヲ記スヘカラス又問
 題ニ番號アルモノハ悉ク該番號ヲ記シ答フヘシ
 第十一條 檢定係ニ對シ質疑ヲ要スルトキハ手ヲ舉ケ自己ノ番號ヲ呼ヒ許可ヲ得テ後
 發言スヘシ
 第十二條 檢定中ハ總テ檢定係ノ指揮ニ從フヘシ
 第十三條 檢定中濫リニ其席ヲ離レ若クハ他人ニ通語シ又ハ書籍等閱覽スルヲ許サス
 犯ス者ハ其檢定ヲ停止シ直ニ退場セシムヘシ

檢定課程表

初 等 科		
學 科	程 度	問 題 數 時 限
身 修	龜谷行編 改正修身見割 小學外編	每書凡二十句以下 二
方 讀	編輯寮編 （語彙別記） （語彙活語指掌） 土屋榮編 近世名家文鈔	五 凡三十句以下 二 二時三十分
文 作	假名交り 讀 紀事文	各 一 一時三十分

中 等 科		
學 科	程 度	問 題 數 時 限
算 術	珠算諸法 珠算諸法異乘同除 珠算諸法異乘同除 珠算諸法異乘同除 珠算諸法異乘同除 珠算諸法異乘同除	各 五 二 五 二 五
地 理	南瀛網紀編 小學地誌 笠間益三編 新撰日本略史	五 一 一 五 二
圖 畫	器具花葉家屋ノ類	二 二 二
物 理	宇田川準一譯 物理全誌自卷ノ一至卷ノ四	五 一 一 五 二
教 育	伊澤修二著 教育學	二 一 一 二 二
學校管理法	同 學校管理法	二 一 一 二 二
實地教授	同 學校管理法	二 一 一 二 二
身 修	稻垣千穎新 文和章軌範本	每書凡三十句以下 三
方 讀	和文軌範本	三
文 作	假名交り 論說文	一 二 一 二 一
字 楷	行 草各	五 字三 十分

△學務○小學教員學力檢定手續

算	術	筆算開平開立	五	五	一	時三十分
地	理	高木怡莊編 萬國地誌要略	五	五	一	時
歷	史	小永井八郎編 漢史一編	五	五	一	時
圖	畫	草樹禽獸蟲魚ノ類	二	二	二	時
生	理	伊藤正信譯 鳴氏初學人身生理	五	五	一	時三十分
博	物	丹波敬三外一人譯 丹波敬三外二人譯 普通植物學	五	五	一	時
幾	理	宇田川準一譯 物理全誌	五	五	一	時三十分
記	何平	自卷ノ五 至卷ノ九	三	三	一	時三十分
實	簿單式核式		二	二	二	時
地	業小學中等科		二	二	一	時三十分
學	課程	西村貞壽 小學教育新編				
修	身論		度	問	題	數
讀	方謝選拾遺	凡十五句以下 凡三十句以下	一	一	一	時
作	文漢		一	一	一	時三十分

習	字	楷	行	草	各	五	五	三	十
算	術	筆算級數求積及雜題				五	五	一	時三十分
地	理	片山平三郎譯 地理學初步				五	五	一	時三十分
歷	史	西村茂樹編 萬國史略				五	五	一	時
圖	畫	用器畫				二	二	二	時
生	理	今井金吾譯 達兒敦氏學校用生理書				五	五	一	時三十分
博	物	和野德三郎編 物理全誌卷ノ十				五	五	一	時三十分
化	學	宇田川準一譯 物理全誌卷ノ十				三	三	一	時三十分
代	數	方	程	式		五	五	一	時三十分
幾	何	立	體			三	三	一	時
經	濟	永田健助譯 實業經濟學				五	五	一	時三十分
心	理	井上哲三郎譯 心理學新說				三	三	一	時三十分
本	令	教育令郵便條例電信條例地租條例印稅規則類				三	三	一	時
教	法	筆作詳譯				三	三	一	時
管	業	小	高	等	科				
地	授	業	小	高	等	科			

△學務○小學教員學力檢定手續

學科	初等科	中等科	高等科
農	農業	關道藏譯 永田健助譯 農工商經濟論 捷徑	捷徑
工	工業	中川重胤譯 永田健助譯 農工商經濟論 小學 工業篇	
商	商業	甲斐織衛外一人譯 永田健助譯 農工商經濟論 入門	
英	英語	ウヰル第二讀本 習字 ソノ氏第二讀本 譯讀方 文	ウヰル第三讀本 ソノ氏第三讀本 譯讀方 會話
裁縫	縫	單物 引足物 袋類 襪類 入股	羽織類 袴類 及 絹布
家事經濟	經濟	小笠原清務外一人編 小學女禮式並ニ實地演習	藤田久道編 家事經濟論
體操	體操	整容術及徒手運動	木環及棍棒使用

●明治十八年八月廿四日乙第百拾六號郡區役所戶長役場町(村)立小學校職員へ達
 現任小學校職員學力檢定ノ義自今年三月府立師範學校ニ於テ施行候條志願ノ者ハ前
 月二十日限リ履歷書相添當廳へ可願出此旨相達候事

現行

東京各師範學校生徒募集ノ件

●明治十八年六月十六日示第百二十三號達
 本年九月東京女子師範學校ニ於テ女子師範生徒二十名募集候ニ付テハ當府ノ擧擧ヲ以
 テ一名入學セシメ候條左記各項了知ノ上本月三十日限リ學業履歷書ヲ添へ當廳へ出願
 スヘシ 右告示候事

一資格 年齡滿十五年以上二十年以下ニシテ體質健康在學中家事ニ係累ナク卒業後當
 府公立學校教員ヲラント欲スル志望ヲ備へ且品行端正ニシテ小學校六ヶ年以上ノ課
 程ヲ卒リタルモノ若クハ之ニ相當セル學力ヲ有スル者

一入學試驗科目及程度 小學六ヶ年ノ學科ノ程度ニ準據シテ修身讀書作文習字算術地
 理本邦歷史圖書博物物理裁縫ノ諸學科ヲ試ム

一學費 當府ノ公費ヲ以テ一ヶ月金六圓ヲ給ス

一試驗ノ期日ハ來ル七月廿日ヨリ當府ニ於テ施行シ且合格者幾名アルモ其中優等者一
 名ヲ撰擧入學セシム

△學務○東京各師範學校生徒募集手續

●明治十八年六月廿日示第百三拾壹號達

東京師範學校ニ於テ初等中學師範學科生徒募集候ニ付當府ノ選舉ヲ以テ凡四名入學セシム候條志願ノ者ハ左記各項了知ノ上來七月十五日限學業履歷書ヲ添へ當廳へ出願スヘシ 右告示候事

- 一 年齡 明治十九年七月十七年以上二十二年以下ニシテ當府管内ニ住居ヲ定タル者
- 一 身體 品行端正體質健強ニシテ在學中家事ニ係累ナキ者
- 一 志望 卒業後當府立師範學校ノ教員タラント欲スル者
- 一 試驗科目 初等中學全科

但試驗ノ問題ハ東京師範學校ヨリ回附シタルモノニ就キ試ム

一 試驗期日 來九月十八日ヨリ同月二十五日迄ニ當府ニ於テ施行シ且試驗ノ合格不合格ハ東京師範學校ノ通報ニ依リ之ヲ定ム

但合格者幾名アルモ其中優等者ヲ選拔ス尤時宜ニ由リ人員ヲ減スルコトアルベシ
一 入學期日 選舉生徒ハ來十一月十日當地出發同月十五日試驗生トシテ入學シ明治十九年七月本級ニ入ル

但學力等不充分ニシテ本級ニ編入スル能ハサルモノハ退學トス

一 學資 當府ノ公費ヲ以テ壹ヶ月金六圓ヲ給ス 但出京旅費若干圓ヲ給ス

一 規約 當府ノ選舉生徒トナル者ハ當府ニ於テ規定セル規約書ヲ差出スモノトス

●明治十八年七月三十日示第百六十一號達

文部省直轄東京體操傳習所ニ於テ本年九月傳習員並ニ別課傳習員募集候旨通牒有之候條志望ノ者ハ左記ノ諸項了知ノ上來八月二十日限り同所へ願出ヘシ

但町村等ノ公費ヲ以テ派遣セントスルモハ前以テ府知事ノ裁可ヲ經ヘシ 右告示候事

第一 傳習員資格

年齡凡十八年以上三十五年以下ニシテ將來體操教員タルヘキ志望ヲ具シ且品行方正身體健康ニシテ特ニ町村等ノ公費ヲ以テ派遣セル者若クハ自費ヲ以テ傳習ヲ志願スル者

一 入學試驗科目

- 一 體格
- 一 生理學初歩
- 一 三算術諸比例分 數開平
- 一 四作文片假名交リ 普通文

一 學科科目

- 一 體操(輕運動步兵操練)
- 一 體育論
- 一 生理學

第二 別課傳習員資格

年齡凡十八年以上三十五年以下ニシテ體操術執心且身體健康克ク體操ノ業ニ堪フル者ニシテ現ニ學校ニアリテ教務ニ任シ若クハ其業務上教育ニ關係アル者ノ服務ノ餘暇等ニ公費若クハ自費ヲ以テ體操術ヲ修メント欲スル志望ノ者

△學務○東京各師範學校生徒募集手續

入學試驗科目

体格

學科

體操 輕運動

第三 入學生徒心得

一 修業期限ハ凡六ヶ月ニシテ事情已チ得サル者ノ外ハ都テ傳習所寄宿舎内ニ寄宿スル者トス

一 學資ハ入學ノ節修業用具購求費及修業中ノ食料ヲ合セ一ヶ月平均凡金六圓トス

雜事

學務委員薦舉規則中増加ノ件

明治十八年三月三十日甲第貳拾壹號布達

●明治十八年三月三十日甲第貳拾壹號布達

明治十四年(十一月)當府甲第貳百四拾五號布達學務委員薦舉規則第二條第五款ノ次ニ左ノ一款ヲ増加ス

第六款 賭博犯處分規則ニ據リ一年以上ノ懲罰ニ處セラレ滿期后未タ五年ヲ經サル者右布達候事

町村立小學校職員準官等并等級名稱月俸表

●明治十八年一月十七日甲第一號達

明治十五年(二月)當府甲第十八號布達本年一月卅一日限廢止ス 右布達候事 (參看) 甲第十八號布達ハ町村立小學校職員準官等名稱月俸ノ件

●明治十八年一月十七日乙第六號郡區役所戶長役場學務委員立小學校へ達 當府町村立小學校職員準官等并等級名稱月俸等別表ノ通相定本年二月一日ヨリ施行 候條此旨相達候事 (別表)

△學務委員薦舉規則中増加ノ件○町村立小學校職員準官等并名稱月俸表 下三百五十一

非現行
十八年八月
廿三日
依號
布告
ル

現行

町村立小學校職員俸官等并等級名稱月俸表

校長	長全				
準官	給拾五圓以上二拾五圓以下				
訓導	一等訓導 給拾八圓以上二拾五圓以下	二	三	四	五
準	一等准訓導 給拾四圓以上二拾五圓以下	二	三	四	五
俸	六圓以上拾圓以下				
補助員	二	三	四	五	六
俸	給四圓以上八圓以下				

現行

但補助員俸給ハ其標準ヲ示スモノニ付町村ニ於テ之レヲ規定シ郡區長ノ認可ヲ受ク

官命及而テ郡區長ハ之ヲ府知事ニ開申スルモノトス

●明治十八年八月十一日甲第七拾壹號

明治十五年(九月)甲第五號布達府立町村立(師範學校)中學校(職員名稱等級俸官等

俸給表中第三欄左ノ通改正ス但明治十七年(七月)甲第五拾貳號布達ハ廢止ス

俸給ニ百圓以下貳拾五圓以上者布達候事

町村立小學校教員月俸旅費支給規則

●明治十八年二月廿日乙第廿五號郡區役所戶長役場學務委員町立小學校教員へ達

明治十五年(五月)當府乙第六十八號達本月限リ廢止候條此旨相達候事

(參看) 乙第六十八號達ハ町村立小學校ニ於テ高初中等科ヲ教授スル者ハ之ニ相當月

俸ヲ給スルノ件

學務委員給料旅費職務取扱費

●明治十八年二月九日乙第十八號郡區役所戶長役場へ達

教育令第十條但書ニ係ル學務委員人員ノ多寡給料旅費職務取扱費等ハ其任期間變更セサル様區町村會ヲシテ豫メ之レヲ評決セシメ府知事ノ指揮ヲ受ク認可ノ上施行スルヲ得此旨相達候事

現行
明治十八年二月十八日
三月三日
三月三日
依號

△學務○町村立小學校教員月俸旅費○學務委員給料旅費職務取扱費 下三百五十三

大阪府書籍館規則

施行

●明治十八年六月廿七日示第百三拾四號達
 府立大阪書籍館規則別冊ノ通改定本年七月一日ヨリ施行ス 右告示候事
 (別冊)
 府立大阪書籍館規則

第一章 總則

- 第一條 本館所藏ノ圖書ハ此規則ニ據リ何人タリトモ之ヲ求覽スルコト得ヘシ
- 第二條 本館ハ毎日午前第八時ニ開キ午後第五時ニ閉ツ但毎年五月一日ヨリ九月三十日迄ハ午前第七時ニ開キ午後第四時ニ閉ツ
- 第三條 閉館定日ハ月曜日紀元節天長節神武天皇祭歲首一月一日ヨリ全五日マテ夏期八月一日ヨリ全十五日マテ歲末十二月廿一日ヨリ全卅一日マテトス但臨時閉館ハ其時々揭示スヘシ
- 第四條 本館係員ノ外書函ヲ開閉スルヲ許サズ
- 第五條 圖書一部ノモノハ都テ館外帶出ヲ許サスト雖二部以上ノモノハ之ヲ許スヘシ

- 第六條 圖書ノ求覽ハ就館並館外帶出社時ヤス總テ見料ヲ要セス
- 第七條 瘋癲又ハ酩酊者ハ認ムル者ハ昇館ヲ許サズ

第二章 圖書求覽

- 第八條 圖書ヲ求覽セントスルモノハ先ツ受附所ニ於テ求覽人名簿ニ住所姓名等ヲ詳記スヘシ
- 第九條 求覽者ハ圖書目錄ニ就キ其圖書各部冊數番號及住所姓名ヲ借覽簿ニ記シ捺印ノ上圖書ヲ受取ルモノトス
- 第十條 圖書ノ求覽ハ一時二部以内トシ讀了ノ後ニアラサレハ更ニ他ノ圖書ヲ貸與セス
- 第十一條 館内ニ於テ閱覽圖書ヲ賸寫スルハ妨ナシ
- 第十二條 圖書ヲ失亡シ或ハ點汚損敗セシキハ同一ノ書籍ヲ返還セシムルカ若クハ相當代價ヲ辨償セシムルコトアルヘシ
- 第十三條 借受ケ圖書ハ退館ノ際必ス之ヲ係員ニ返還スヘシ
- 第十四條 館内ニ於テ朗讀又ハ雜談飲食吹煙等ヲ禁ス
- 第十五條 喧嘩又ハ粗暴ノ舉動アリテ他ノ妨碍ヲナスモノハ直チニ退館セシムヘシ
- 第十六條 携帶品ハ都テ受附所ニ差置クヘシ尤緊要放置スルヲ得サルモノハ提携スルヲ許スト雖退館ノ際ハ之ヲ開查スヘシ

第三章 圖書帶出

△學務○大阪府書籍館規則

第十七條 圖書帶出ヲ乞フ者ハ二部以上アルモノニシテ本館ニ於テ定ムル所ノ圖書代價ヲ前納シ左ノ離形ニ倣ヒ借用証書ヲ差入ルヘシ
但圖書代價壹圓以上ナルキハ印稅規則ニ依リ相當ノ印紙ヲ貼用スヘシ

書籍(圖)借用証

一書名	何部何冊	此代價幾何
一圖書	何軸(折)	此代價幾何
一同	同	同
合計何部何冊何軸(折)合金幾何		
前書ノ通帶出御規則了承ノ上借用致シ候處實正也然ル上ハ本日ヨリ滿三十日間ニ屹度返納可致若シ其期限五日ヲ經過スル歟又ハ亡失等ノ節ハ右前納代價ヲ沒収セラル、モ一言ノ申分無之候依テ後証如件		
年月日	府下何郡區何町村何番地 居住或ハ寄留族籍(寄留ナレハ原籍ヲ記ス)	
	府立大阪書籍館御中	姓名 印

第十八條 二部以上ノ圖書タリトモ既ニ他人ノ借受ケ帶出セシニ依リ一部ノミ之レナキモノハ其返還スルニ非ラサレハ帶出未許サス

第十九條 圖書帶出ハ一人ニ付三部以內トス尤冊數ノ多寡ニ拘ラス全部ヲ帶出スルモノトス

第二十條 帶出期限內讀了シ能ハサルモノハ前借中此ノ規則ニ違背セサル者ニ限り一應返還ノ上更ニ貸渡スヘシ

第二十一條 圖書ヲ點汚損敗セザルハ同一ノ圖書ヲ返還セシムルカ又ハ相當代價ヲ辨償セザルハ罰アルヘシ但失亡セシキハ情實ノ如何ヲ問ハズ前納代價ヲ沒収スルモノトス

第二十二條 帶出日限ハ滿三十日ヲ期トス若シ其期ヲ過キ返還ヲ惰タリタルモノハ郵便稅先拂ヲ以督促スヘシ

第二十三條 前條ノ場合ニ於テ其期限五日ヲ過クルモ尙返還セサルキハ前納代價ヲ沒収スヘシ

第二十四條 圖書借受中轉籍又ハ轉居等ハ其都度詳細本館ニ通知スヘシ

第二十五條 他府縣へ轉居等スルキハ縱令借受期限中タリトモ其圖書ハ直チニ返納スヘシ

第四章 圖書寄贈
第二十六條 凡テ文教裨益ノ爲メ圖書ヲ寄贈セントスルモノハ其題名并部數及住所姓名等ヲ詳記シ圖書ニ添へ本館ニ送致スヘシ

△學務○大阪府書籍館規則

第廿七條 寄贈ノ圖書ハ寄贈者ノ姓名并其年月日ヲ標記シ本館ノ圖書ト區分保存シ求覽ニ供スルモノトス

第廿八條 本館ハ寄贈者ニ對シ左ノ受領証ヲ付與ス

受領証

一圖書名

軸折部數

今般前書ノ圖(書籍)本館ニ寄贈セラレ候ニ付テハ永ク之ヲ保藏シ廣ク公衆ノ求覽ニ供スヘシ因テ爰ニ受領ノ旨ヲ証スル者也

年月日

何某殿

府立大阪書籍館印

第廿九條

寄贈ノ圖書多分ノ運送費ヲ要スルモノニシテ自辨チ欲セサルモノハ其請求ニ依リ特ニ文致ニ裨益アル圖書ニ限リ本館ニ於テ之ヲ辨給スルヲアルヘシ

第五章 圖書委託

第三十條

凡テ公衆ニ求覽ニ供スル爲メ圖書ヲ委託セントスル者ハ其事由并圖書各部數價格及ヒ住所姓名等ヲ詳記シ圖書ニ添ヘ本館ニ送致スヘシ但返還ヲ請求スルハ其旨書面ヲ以テ詳細申出ツヘシ

第三十一條

委託ノ圖書ハ都テ本館ニ保藏シ衆庶ノ求覽ニ供スト雖モ館外帶出ハ之ヲ

許サス

第三十二條

委託ノ圖書ハ厚ク之ヲ保藏スト雖モ火難又ハ盜難其他天災等ニ罹リ損敗或ハ失亡スルモ本館ハ一切其責ニ任セサルモノトス

第三十三條

本館ハ委託者ニ對シ左ノ受託證ヲ付與ス

受託証

一圖書名

軸折部數

今般前書ノ圖(書籍)本館ニ委託セラレ候ニ付テハ厚ク之ヲ保藏シ廣ク公衆ノ求覽ニ供スヘシ因テ爰ニ委託ノ旨ヲ證スル者也

年月日

何某殿

府立大阪書籍館印

町村立幼稚園保母月俸及旅費並大阪府幼見保育規則

△學務○大阪府書籍館規則○町村立幼稚園保母月俸及旅費並云々

現行

●明治十八年四月十五日乙第四拾貳號 郡區役所戶長役場學務委員
 痲疹病ニ罹リタルモノハ落屑全ク終リ外貌常ニ復スルモ身心ノ力久シク復故セサルモ
 ノニ付學校生徒及ヒ幼稚園幼兒ニシテ該病ヲ患ヒシ者學業ニ復スルヲ速キニ失シ精神
 ヲ役シ耳目ヲ勞シ又唱歌音讀等ニ由テ肺ヲ過勞スルトキハ爲メニ神思ノ乏弱眼肺ノ疾
 病ヲ招クノ惧有之候條右生徒等ハ全体ノ健康充分常ニ復スルマテ授業ヲ輕減シ試驗ヲ
 延期スル等便宜ノ取計ヲ以テ該病經過后ノ保養方ニ深ク注意可致此旨相達候事

●明治十八年七月廿四日乙第百七號 郡區役所戶長 役場學務委員 へ達
 町村立幼稚園保母月俸及ヒ旅費支給方ハ明治十五年(五月)乙第六十六號達小學校教員
 月俸支給規則並ニ全年五月乙第六十六號教員旅費規則ニ準シ戶長學務委員ニ於テ取調
 郡區長ノ認可ヲ經施行スヘキ儀ト可心得此旨相達候事

●明治十八年八月五日甲第六十九號
 學齡未滿ノ幼兒保育規則別冊ノ通制定ス

右布達候事

大坂府幼兒保育規則

第一章

第一條 幼稚園ノ設置ナキ町村ニ於テ學齡未滿ノ幼兒ヲ保育セントスルルキハ小學校内
 ニ於テ學齡兒童ト區別シ本則ニ依リ保育スルモノトス

現行

第二條 保育スヘキ幼兒ハ男女年齡大約滿四歲以上六歲未滿ニシテ種痘若クハ天然痘
 ヲ歴タルモノトス

第三條 保育科ハ之ヲ二組ニ分チ二ノ組ヲ年齡滿五年以下トシ一ノ組ヲ六年未滿ノ者
 トス

第四條 保育科ハ總テ試驗ヲ須ヒサルモノトス

第五條 保育科目ハ修身ノ話庶物ノ話木ノ積立板排へ箸排へ鏝排へ畫キ方數へ方讀ミ
 方書キ方唱歌遊戲トス

第六條 保育時間ハ一日二ノ組ヲ三時トシ一ノ組ヲ三時三十分トス尤モ土曜日ハ各二
 時三十分トス 但毎科ノ時間ハ三十分ヲ過クヘカラス

第七條 年中休日ハ小學校ニ同シ

第二章 保育要旨

第八條 修身ノ話ハ幼兒日用ノ諸心得及古今聖賢ノ教ニ基キ近易ノ話ヲナシ務メテ善
 良ノ性質習慣ヲ養ハントトス

第九條 庶物ノ話ハ專ラ日用ノ庶物及ヒ鳥獸草木等幼兒ノ知リ易キ物或ハ其標本繪圖
 ヲ示ソ之ヲ問答シ以テ觀察注意ノ良習ヲ養ヒ兼テ言語ヲ習ハシメントトス

第十條 木ノ積立ハ立方体立柱体三角柱体ノ木片ヲ與ヘ種々ノ形ヲ排ヘシメ以テ構造
 ノ力ヲ養ヒ兼テ邊角形体ノ觀念ヲ得セシムルモノトス

△學務○町村立幼稚園保母月俸及旅費并大阪府幼兒保育規則

第十一條 板排へハ彩色セル薄キ正方形三角形ノ小板ヲ與へ種々ノ形ヲ排へシメ以テ美麗ヲ好ムノ心ヲ養ヒ兼テ角度ノ大小等ヲ得セシムルモノトス

第十二條 箸排へハ大約一寸ヨリ五寸マテノ五種ノ箸ヲ與へ種々ノ形ヲ排へシメ以テ工夫ノ力ヲ養ヒ兼テ長短ノ觀念ヲ得セシムルモノトス

第十三條 鑲排へハ鐵或ハ真鍮ノ全鑲半鑲ヲ交へ與へテ種々ノ形ヲ排へシム間々亦箸ヲ交へ與ルコトアリ其目的概テ箸排へニ同シ

第十四條 書中ノ方ハ最初石盤上ニ縱橫斜ノ線ヲ以テ物ノ略形ヲ畫カシメ稍熟スルニ至リ鉛筆ヲテ野紙ニ畫カシムルモノトス

第十五條 數へ方ハ專ラ實物ニ就キ物ノ數へ方ヲ知ラシメ略ホ數ノ觀念ヲ得タルモノニハ又實物ニ依リ廿個以下ノ寄セ方引キ方ヲサシメ兼テ十以下ノ數字ヲ教フ

第十六條 讀ミ方ハ片假名平假名ヲ以テ幼兒ノ知リタル物ノ名等ノ綴方易キ者ヲ塗板ニ書キ示シテ假名ノ稱へ方用ヒ方ヲ教フ

第十七條 書キ方ハ片假名ヲ以テ既ニ授ケタル物ノ名等ヲ塗板ニ書キ示シテ石盤ノ上ニ習ハシメ又數字ヲ習ハシム

第十八條 唱歌ハ先ツ保姆ノ唱フル所ニ倣ヒ之ヲナサシメ只心情ヲ和ケ胸廓ヲ開キ務メテ健康ヲ補ヒ徳性ヲ養ハンコトヲ要ス

第十九條 遊嬉ハ幼兒ニ適スル者ヲ撰テ之ヲナサシメ以テ身軀ヲ健カニ精神ヲ爽カナ

ラシメンコトヲ要シ危險野鄙ニ涉ルコトナカラシムヘシ

第三章 雜則

第二十條 幼兒ヲ取扱フニハ保育者一人ニ付凡幼兒二十五人ヲ度トス

第二十一條 六箇月以上實際ニ保育ヲ受ケシ幼兒ニハ左式ノ保育証書ヲ與フヘシ

証書式

割	何府何縣族籍
印	何年某齡
右ハ當校幼兒保育科ニ於テ何年何月何日ヨリ何年何月何日マテ保育候事	
年月日	
大阪府何郡區役所部内	
何學區	
町村立何々小學校	
校印	

保育課程表

△學務○町村立幼稚園保母月俸及旅費并大阪府幼兒保育規則 下三百六十三

課	目	二	組	一	組
修	身ノ話	三			組
庶	物ノ話	二			
木	ノ積立	五			
板	排	二			
箸	排	二			
鑲	排	二			
書	方	二			
數	方	二			
讀	方	二			
書	方	一			
唱	歌	六			
遊	嬉	十二			
合	計	三十五			四〇

但表中ノ數字ハ每週ノ度數ヲ示スモノナリ
 保育圖書器具表

器具書名 冊數 冊數 製造年 月 創者 譯者 氏名 製造者 住氏 所名

日本庶物等教	三	冊	明治十二年五月	芳川修平	著	東京日本橋區溜町二丁目十一番地 青木清輔
第三四五六 恩物	四	箱		フレベル氏	創製	未定
第七 恩物	一	箱		全	上全	上
第八 恩物	一	箱		全	上全	上
第九 恩物	一	箱		全	上全	上
幼稚園	下	讀ミ方ノ部	明治十一年六月	桑田親吾	譯文	省
讀方掛圖	平假名 五 片假名 十 部	讀ミ方ノ部	明治十七年二月	文部省編輯局	全	上

表中書籍ノ内幼兒ノ保育ニ適セサル處ハ之ヲ斟酌シテ用テヘシ
 唱歌ノ用書ハ恰當ノモノ之レナキヲ以テ當分保母ノ適宜ニ任ス

△學務○町村立幼稚園保母月俸及旅費并大阪府幼兒保育規則 下三百六十五

現行

●明治十八年八月廿六日乙第百貳拾壹號郡區役所戸長役場へ達
町村立小學校幼兒保育科保母任免等ノ議ハ明治十七年當府乙第百六十號達町村立幼稚園保母任免手續ヲ適用候儀ト心得ヘシ此旨相達候事

賞 與

●明治十八年四月廿七日乙第五十五號郡區役所(大阪四區ヲ除ク)へ達
明治十八年度中郡區長ニ於テ公立小學校生徒臨時試驗ヲ施シ優等ノ者へ賞與スヘシ此旨相達候事 但金員ハ追テ配布スヘシ

●明治十八年四月廿七日乙第五十六號戸長役場農務委員公立小學校(大阪四區ヲ除ク)へ達
明治十八年度中郡區長ニ於テ公立小學校生徒臨時試驗ヲ施シ優等ノ者へ賞與候條爲心得此旨相達候事

町村立小學校生徒授業料徴收概則

現行

●明治十八年十二月十四日乙第百六拾貳號郡區役所戸長役場へ達
町村立小學校生徒授業料徴收概則別紙ノ通相定メ候條此旨相達候事

町村立小學校生徒授業料徴收概則

第壹條 町村立小學校ニ於テハ各生徒ヨリ一ヶ月左ノ範圍内ニ據リ授業料ヲ収メシムルモノトス 金壹錢以上金三拾錢以下

第貳條 授業料額并徴收期日等ハ町村ニ於テ適宜之ヲ定メ郡區長ノ認可ヲ經ヘシ

第參條 授業料ハ一家内二名以上入學スルトキハ一名ハ定額ヲ徴シ其他ハ渾テ半額ヲ収メシムヘシ

第肆條 授業料ハ生徒出席日數ニ拘ラス渾テ一ヶ月分ヲ収メシムルモノトス 但病氣等ニテ滿一ヶ月出席セサルモノハ本條ヲ限リニアラス

第五條 土地ノ情況等ニ據リ甲學校所屬町村ノ者ニシテ乙學校へ通學スルキハ第一條ノ範圍内ニ依リ適宜之カ授業料ヲ定ムルヲ得 但此場合ニ於テハ第二條ノ手續ヲ經ルモノトス

第六條 町村立小學校内ニ設置セル幼兒保育料モ前數條ニ由リ保育料ヲ収メシムヘシ

雜

△學務○賞與○町村立小學校生徒授業料徴收概則○雜

現行

●明治十八年一月十九日乙第七號郡區役所戸長役場へ達
徴兵事務條例第十六條ニ依リ當府々立學校々長ヨリ交附スル處ノ證明書ハ左ノ通ニ候
條爲心得此旨相達候事

證明書

族籍

姓

名

年

齡

右ハ本校何學科第何級期修業中ノ生徒ニシテ既ニ幾ケ年ノ課程ヲ終リタルモノナリ
依テ之ヲ證明ス

年月日

大阪府立何學校長

姓

名印

●明治十八年一月廿七日乙第十二號郡區役所戸長役場學務委員へ達
公立學校等ノ生徒ニシテ多衆集合シ躁暴危險若クハ奇異ノ行爲有之候テハ教育上不
都合ニ候條右様ノ儀無之様公立學校等へ相達嚴重取締可致尤運動等ノ爲メ集合スル
ルハ學校ノ職員ヲシテ不取締無之様臨監セシムヘシ此旨相達候事

●明治十八年二月十日乙第廿一號(郡區役所 戸長役場 學務委員へ達)
昨今麻疹病流行ノ兆候有之候付テハ該病患者同居ニ係ル學校生徒ハ右患者療養中ハ勿
論轉歸消毒後タリト雖モ十日間登校ヲ停ムヘシ此旨相達候事

類聚大阪府布達全書第二編第六卷終

類聚大阪府布達全書第二編第七卷

衛生之部

衛生

衛生委員廢止ニ係ル諸達

●明治十八年八月十九日甲第七拾四號布達

明治十五年甲第百十四號布達中町村衛生委員事務條項及明治十七年甲第六十三號布達
廢止ス 右布達候事

●明治十八年八月二十日甲第七十五號布達

明治十四年甲第五十七號及明治十六年甲第貳拾七號全甲第三拾貳號全甲第三拾三號全
甲第三十五號全甲第五十四號布達中衛生委員トアルヲ惣テ戸長ト改ム 右布達候事

△衛生○衛生委員廢止ニ係ル達

現行

現行

●明治十八年八月二十日乙第百拾四號郡區役所戸長役場へ達
明治十六年乙第八十五號及今年乙第八十九號達ニ據リ衛生委員ニ於テ取扱來候事務ハ
自今戸長ニ於テ取扱フヘシ此旨相達候事

虎列刺病豫防ニ係ル諸達

●明治十八年七月廿六日甲第六十六號布達
春來時季ノ不順ニ加フルニ今回ノ水害アルヲ以テ悪性病ノ流行スルモ測リ難ク己ニ管
内各所ニ於テ虎列刺病ニ罹リシ者十三名有之就テハ豫防法實施ノ都合有之候條自今吐
瀉兼發症ハ勿論或ハ吐或ハ瀉アル病者ヲ診察セシキハ其病名ノ何タルニ拘ラス當分ノ
内直ニ當府衛生課へ届出ヘシ 右開業醫へ布達候事
●明治十八年七月廿七日甲第六十七號布達
現今虎列刺病散發候ニ就テハ豫防實施ノ都合有之吐瀉兼發ノ病者ヲ診察セシキハ其病
名ノ何タルヲ問ハス當府衛生課へ可届出旨布達候處右ハ當分ノ内左ノ書式ニ據リ各自
便宜ニ從ヒ最寄警察署又ハ巡查派出所郡區役所戸長役場又ハ衛生委員ノ内へ速ニ報告

スヘシ 但本年甲第六十六號布達中吐瀉兼發症ノ下十一字ヲ削除ス右開業醫へ布達候
事

吐瀉兼發病者報告

何郡(區)何町(村)何番地
職業 何 / 誰

何年何月

發病何月何日午(前後)何時
右報告候也

明治十八年何月何日

何郡(區)何町(村)何番地
主治醫 何 / 誰

大阪府 御中

●明治十八年七月廿七日乙第百八號郡區役所へ達
今般當府廳内ニ虎列拉病豫防事務所ヲ設置シ該病ニ關スル一切ノ事務爲取扱候條該病
ニ係ル事件ハ同所へ協議スヘシ此旨相達候事
●明治十八年八月廿七日示第百八十三號達
長崎縣下ニ於テ虎列拉病流行ノ景況有之ニ付本日以後同地方ヨリ入津ノ船舶ハ派出官
吏ヲシテ検査セシムヘシ 右告示候事

△衛生○虎列拉病豫防ニ係ル諸達

●明治十八年八月三十一日諭第十三號達

長崎縣下ニ於テ本月廿三日以來虎列拉病蔓延セシニ依リ檢疫施行候旨該縣ヨリ通知有之候處當地ノ儀ハ同地方ト交通頻繁ナルヲ以テ自然何等ノ媒介ニ由リ傳播スルモ測リ難キノミナラス既ニ當府下ニ於テモ本年同病ニ罹ル者初發ヨリ六十八名有之殊ニ本年ハ非常ノ水害ニ遭遇セルヲ以テ此際攝生ヲ忽ニスルハ如何ナル慘狀ヲ見ルニ至ルヤモ測リ難ク候條屢及告諭候通リ尙此上一層各自ニ於テ篤ク攝生豫防ニ注意スヘシ右告諭候事

●明治十八年九月一日乙第百二十五號郡區役所戸長役場へ達

長崎港ニ於テ虎列拉病流行其勢猖獗ニ付自今虎列拉病豫防事務所ヲ檢疫本部ト改稱警察本署中ニ移轉候條此旨相達候事

●明治十八年九月一日示第百九十二號達

長崎港ニ於テ虎列拉病益猖獗ノ勢ニ付警察本署内ニ檢疫本部ヲ置キ同海航通ノ船舶ハ勿論旅人宿等へ檢疫委員ヲ派シ檢察セシム 右告示候事

●明治十八年九月三日乙第百貳拾六號郡區役所へ達

虎列拉病豫防消毒ノ爲メ追々各地へ檢疫支部ヲ設ケ其位置及主管區域ハ設置ノ際檢疫本部ヨリ通知セシムヘク候條其都度速ニ部内へ告示スヘシ此旨相達候事

●明治十八年九月三日甲第七拾八號布達

長崎港ニ於テ虎列拉病流行ニ付追々各所へ檢疫支部ヲ設ケ豫防消毒ノ事務爲取扱候條虎列拉病ニ關スル諸届等ハ所管ノ支部へ差出スヘシ其位置及ヒ所管區域ハ其時々所管郡區役所ヨリ告示セシムヘシ 但支部設置候迄ハ従前ノ手續ニ由リ届出ツヘシ右布達候事

●明治十八年九月四日諭第十五號達

長崎港ニ於テ劇性虎列拉病蔓延候ニ就テハ其病毒何時府下へ侵入シ來ルモ難測候間此際各自ニ於テ篤ク左項ニ注意シ攝生豫防ヲ怠ラサルニ務メ致スヘシ

- 一 食物ハ新鮮ノ肉類消化シ易キ野菜ヲ撰ヒ用ユヘシ 但シ良好ノ品ト雖モ腐敗ニ傾キタルモノヲ食シ又ハ過食スルハ宜シカラス
- 一 虎列拉病流行ノ時ハ海上ヲ來往スル船舶中ニ虎列拉病ヲ發生シ爲ニ排泄物及汚穢物ヲ海中ニ投スルコトアリテ自然海魚ノ腹中ニ其毒ヲ含ミ居ルヤモ測リ難キニ付此際海魚ヲ食スルニハ能ク其肉ヲ洗滌シ烹或ハ燒キタルモノヲ用ヒ可成生身ヲ食スヘカラス
- 一 氷及冷水ヲ過量ニ飲用スレハ爲ニ下痢ヲ發スルコトアルカ故ニ已テ得サルモハ可成少量ヲ用ユヘシ但シ水ハ一回煮沸シタルモノヲ良トス
- 一 下流ノ河水ヲ飲用スヘカラサルハ勿論ナレド別テ虎列拉病流行ノ時ハ患者ノ排泄物又ハ汚穢物ヲ投棄シ或ハ洗滌スルコトヲ保シ難キカ故ニ決シテ飲用スヘ

△衛生○虎列拉病豫防ニ係ル諸達

カラス

- 一 夜深マテ露臺又ハ船中ニテ納涼スルハ宜シカラス
 - 一 飲食物ニハ相當ノ蓋ヲナシ蠅ノ來リ群ラサル様ニスヘシ
- 右告諭候事

●明治十八年九月九日甲第八拾壹號布達

去月下旬長崎港ニ於テ虎列拉病ヲ發生シ爾後漸次蔓延候趣ニ付當府下ノ如キ何時病毒ノ侵入ヲ蒙ルモ測リ難ク候間豫防法實施ノ都合有之吐瀉兼發ノ病者ヲ診察セシキハ左ノ書式ニ據リ報告書ヲ作り各自ノ便宜ニ從ヒ檢疫本部又ハ支部(未タ支部ノ設ケアラサル地ハ所轄警察分署巡查派出所郡區役所戶長役場ノ内)へ差出スヘシ但本年當府甲第六拾七號布達ハ廢止ス

報告書式

何郡(區)何町(村)何番地
職業 何 誰
何年 何月
右ハ何月何日午前後何時ヨリ吐瀉兼發候處何病ト診斷候間此段報告候也
何郡區何町村何番地
年月日 何 誰印

大阪府檢疫本部宛

右開業醫へ布達候事

●明治十八年九月廿四日甲第八十八號布達

長崎縣下高嶋石炭坑ヨリ取出スル石炭ハ虎列刺病毒付着ノ虞有之ニ付檢疫施行中別紙規則ヲ遵守シ取扱フヘシ
右布達候事

高嶋石炭陸揚及使用取扱規則

- 第一條 高嶋石炭ヲ積載シタル船舶到着シタル時ハ通常ノ檢疫ヲ受ケタル後其荷主若シクハ買受人ハ入港地檢疫官(攝津諸港ハ水上檢疫支部又ハ所属船舶檢疫所和泉諸港ハ堺岸和田兩檢疫支部ノ中又ハ所属船舶檢疫所ヲ云以下做之)ノ指示スル處ノ貯藏場ニ陸揚スヘシ
- 第二條 高嶋石炭ハ貯藏場ヨリ直ニ其使用場ニ運搬スルノ外他ニ移轉スルヲ許サス
- 第三條 高嶋石炭ヲ運搬スル人夫及ヒ船車ハ豫シメ定メ置キ運搬ヲ終リタルトハ檢疫官ノ指定スル處ノ場所ニ於テ消毒法ノ施行ヲ受クヘシ
但シ人夫ハ豫シメ其氏名ヲ檢疫官ニ届出ツヘシ
- 第四條 高嶋石炭ヲ使用スル場所ニ於テハ其取扱人夫ヲ定メ置キ取扱ノ際他ニ散亂セサル様焚盡スヘシ

△衛生○虎列拉病豫防ニ係ル諸達

以下五年毎ニ此例ニ據リ區別スヘシ	滿年十五以上	既婚	未婚
	偶配無偶配有	女男	女男
何區何町死亡調			
明治何年何月分			

病名及事故	死亡	月	日	職	業男		女婚姻上ノ關係氏		名年	齡
					男	女	男	女		
何	病	何	何	何	業	業	既婚有配	何	誰	何年何ヶ月
何	病	何	何	何	業	業	未婚	何	誰	何年何ヶ月
何	病	何	何	何	業	業	既婚有配	何	誰	何年何ヶ月
何	病	何	何	何	業	業	既婚無配	何	誰	何年何ヶ月
何	病	何	何	何	業	業	既婚無配	何	誰	何年何ヶ月
何	病	何	何	何	業	業	既婚無配	何	誰	何年何ヶ月

一 死亡者ハ其埋(火)葬認可證ヲ附與シタル土地ノ戸長ニ於テ乙號樣式ニ照準其數ヲ掲載翌月十五日迄所轄郡區役所へ差出郡區役所ニ於テハ乙號調ニ依リ甲號表ヲ調製其月中ニ差出スヘシ

- 一 人口一万以上ノ都市ニ於テハ特ニ其都市内ヲ一表ニ製シ本表ト共ニ差出スヘシ
- 一 死亡者病類及職業細目ハ明治十六年七月衛生課ノ通報ニ據ルヘシ
- 一 死体ノ棄兒ハ欄外ニ其男女及推測ノ年齢ヲ記載スヘシ

飲料水營業取締規則 並氷雪營業取締規則中挿入ノ件

現行 ◎明治十八年八月六日甲第七拾號達

飲料水營業取締規則別冊ノ通相定メ本月八日ヨリ施行シ從前ノ布達及達等ハ本則施行ノ日ヨリ廢止ス。但從來ノ營業者ハ本月十五日限り第二條第四條第九條ノ手續ヲナスヘシ

右四區及接續町村へ布達候事

(別冊)

飲料水營業取締規則

第一條 飲料水營業トハ飲料ニ供スル水ヲ汲取り又ハ家族雇人ヲシテ汲取ラシメ或ハ

△衛生○飲料水營業取締規則并氷雪營業取締規則中挿入ノ事

下三百七十九

他人ノ汲取リタルモノヲ買入レ之ヲ同業者若クハ需用者ニ販賣スル者ヲ云フ

第二條 井水又ハ湧泉等ヲ汲取ラントスル者ハ詳細ナル其場所ノ圖面ヲ添ヘ當廳へ出願許可ヲ受クヘシ其場所ヲ變更セントスル時モ亦同シ

第三條 河水汲取リ場ハ左ノ箇所ニ限ルヘシ
一 淀川筋源八渡上流西側

一 中津川筋字嬉ヶ崎

第四條 營業セントスル者ハ其汲取場及運搬船車ノ員數并ニ運搬船定繫場等詳記シタル書面ヲ添ヘ(井水又ハ泉水ヲ汲取ル者ハ許可ノ指令寫ヲモ添フヘシ)所轄警察署(以下做之)へ願出取締鑑札ヲ受クヘシ其家族雇人ヲシテ本條ノ業ヲ爲サシムルモ亦同シ

第五條 改氏名代換雇人變換又ハ鑑札ヲ毀失若クハ水火盜難ニ罹リ或ハ汲取場ヲ變更スルハ其事由ヲ申出原鑑札ヲ添ヘ(遺失水火盜難ニ罹ルハ此限ニアラス)書換又ハ再下附ヲ請フヘシ 但廢業又ハ他警察署所轄内ニ轉住セントスルハ鑑札返納スヘシ

第六條 願書ハ二通届書ハ一通(警察署ハ各一通)ヲ作り仲間取締人連署シ其町村戸長衛生委員ノ奥印ヲ受ケ所轄郡區役所ヲ經由(警察署へ差出スヘキモノヲ除ク)差出スヘシ

第七條 販賣區域ヲ設ケ又ハ鑑札ヲ賣買讓與シ若クハ貸借スヘカラス

第八條 鑑札ハ腰部ニ懸携シ何人ニテモ見ントテ求ムルハ之ヲ示スヘシ

第九條 水桶箱ニハ標札ヲ釘付シ運搬船車ハ標旗ヲ立テ水擔桶ニハ總テ飲料水ト大書シ仲間取締ノ檢印ヲ受クヘシ 但標札及標旗ノ汚損シタルハ直ニ新舊交換スヘシ

第十條 水桶箱及水擔桶ハ常ニ清潔ニ洗滌シ且板蓋ヲ設ケ塵埃等ノ混入ヲ防クヘシ

第十一條 運搬船定繫場等ヲ變更シ又ハ運搬船車及水桶箱等ヲ増減シタルハ其旨届出ヘシ

第十二條 水性ニ異狀アルハ直ニ原水ヲ汲取リ衛生課ニ差出試驗ヲ受クヘシ

第十三條 水桶箱ヲ用ヒス直ニ船中ニ汲取リ又ハ飲料水ヲ容ルヘキ器具ヲ以テ他ニ使用スル水ヲ汲取ルヘカラス

第十四條 但飲水運送ノ爲メ殊ニ船体ヲ構造シタル者ハ水桶箱ヲ用ヒサルモ妨ケナシ

第十五條 腐敗水及濁水等ヲ販賣シ又ハ傳染病者ノ排泄物ヲ投棄シ或ハ病毒ニ汚染シタル衣服器具等ヲ洗滌シタル疑アル水ヲ汲取ル可カラス

第十六條 主務官吏ニ於テ不良ノ水ト認ムルハ汲取若クハ販賣ヲ差止メ又ハ放棄セシムルコトアルヘシ

第十七條 營業上ニ關スル一切ノ事ハ營業主其責ニ任スヘシト雖モ家族雇人等ノ故意ニ出タルハ各本人其責メニ任スヘシ

第十八條 但營業人十貳年未滿ノ幼者ナルハ管理者其責ニ任スルモノトス

△衛生○飲料水營業取締規則并水雪營業取締規則中挿入ノ事

下三百八十一

第十七條 此規則(第一條第六條第十二條第十五條第十六條第十八條ヲ除ク)ニ違背スルモノハ違警罪ノ刑ニ處セラルヘシ
第十八條 營業上ニ關シ違警罪以上ニ處セラレタル者ハ所犯ノ情狀ニ依リ營業ヲ停止スルコアルヘシ其營業ヲ停止シタル者ハ親族又ハ他人ノ名義ヲ以テ開業シ若クハ之ニ干預スルコヲ得ス
(書式)

井(泉)水汲取願

私儀何(郡區)何(町村)番地何井(泉)水ヲ販賣ノ爲メ汲取中度候間御檢査ノ上御許可被成下度此段奉願候也

何(郡區)何(町村)番地族籍職業

(寄留人ハ本籍ヲ愛ニ記入スヘシ)

何 誰印

飲料水販賣商取締

何 誰印

前書之通相違無之ニ付奥印仕候也

何(郡區)何(町村)衛生委員

何 誰印

同 戶長 何 誰印

大阪府知事何誰殿

備考

一他人所有ノ井泉水ヲ汲取販賣セントスル者ハ其持主ト連署スヘシ
一汲取場ヲ變更セントスルハ本文ヲ左ノ如ク作ルヘシ
私儀何年何月御許可ヲ受ケ何(郡區)何(町村)番地何井(泉)水汲取リ居候處今般都合ニ依リ該所ノ汲取ヲ相廢シ何(郡區)何(町村)何番地何井泉水ヲ汲取中度候間御檢査ノ上御許可被成下度此段奉願候也

飲料水販賣取締鑑札御下附願

何(郡區)何(町村)何番地族籍職業

(寄留人ハ本籍ヲ愛ニ記入スヘシ)

何 誰印

何十何年何ヶ月

私儀飲料ノ爲メ何川(井)水ヲ汲取(買入)販賣仕度候間取締鑑札御下附相成度別紙明細書相添此段奉願候也

右

何 誰印

年月日

△衛生○飲料水營業取締規則并冰雪營業取締規則中挿入ノ事

前書之通相違無之ニ付與印仕候也

飲料水販賣商取締

何

誰印

何(郡區)何(町村)衛生委員

何

誰印

同戸長

何

誰印

大坂府何警察署御中

備考

一他人ノ汲取タル水ヲ買入販賣スルモノハ其汲取人ト連署スヘシ
一廢業ノ節ハ本文ヲ左ノ如ク作ルヘシ

私儀何年何月何日御許可ヲ受ク何(郡區)何(町村)何番地何井(泉)水汲取販賣罷在候處今般都合ニ依リ廢業仕(又ハ何(郡區)何(町村)へ轉住致)候間鑑札相添此段及御届候也

明細書

一汲取場

淀川筋源八渡上流西側何(郡區)何(町村)何番地何井

一運搬船(車)

何(輛)艘

一水桶(箱)

但何石入何個何石入何個

何個

一定繫場

何(郡區)何(町村)何番地濱

右之通相違無之候也

何(郡區)何(町村)何番地族籍職業

何

誰印

飲料水販賣商取締

何

誰印

大坂府何警察署御中

備考

一他人ノ汲取タル水ヲ買入販賣スル者ハ汲取場ノ但書ニ(何(郡區)何(町村)何番地何誰汲取ノ分買入)ト記シ其汲取人ト連署スヘシ

一他人ノ運搬船ヲ借入ルモノハ定繫場ノ但書ニ(何(郡區)何(町村)何番地何誰持船借入)ト記入シ其持主ト連署スヘシ

家族(雇人)飲料水販賣取締鑑札下付願

何(郡區)何(町村)何番地族籍職業

△衛生○飯料水營業取締規則并冰雪營業取締規則中挿入ノ事

右ハ私兄弟何男(雇人)ニ御座候處今般飲料水販賣(汲取)爲致度候間取締鑑札御下附相成度此段奉願候也

(寄留人ハ本籍ヲ愛ニ記入スヘシ) 誰印

何十何年何ヶ月

年月日

何(郡區)何(町村)何番地族籍職業 (寄留人ハ本籍ヲ愛ニ記入スヘシ) 誰印

飲料水販賣商取締

誰印

前書之通相違無之ニ付與印仕候也

何(郡區)何(町村)衛生委員 誰印

同 戶長 誰印

何 誰印

大坂府何警察署御中 備考

一廢業ノ節ハ本文ヲ左ノ如ク作ルヘシ
私儀何年何月何日御許可ヲ受テ兄(弟)何男(雇人)何某ヲシテ飲料水販賣(汲取爲致居候處今般都合ニ依リ廢業爲致)又ハ解雇仕候間鑑札相添此段及御届候也

離形

朱書

水

標札

何川(井)(泉)

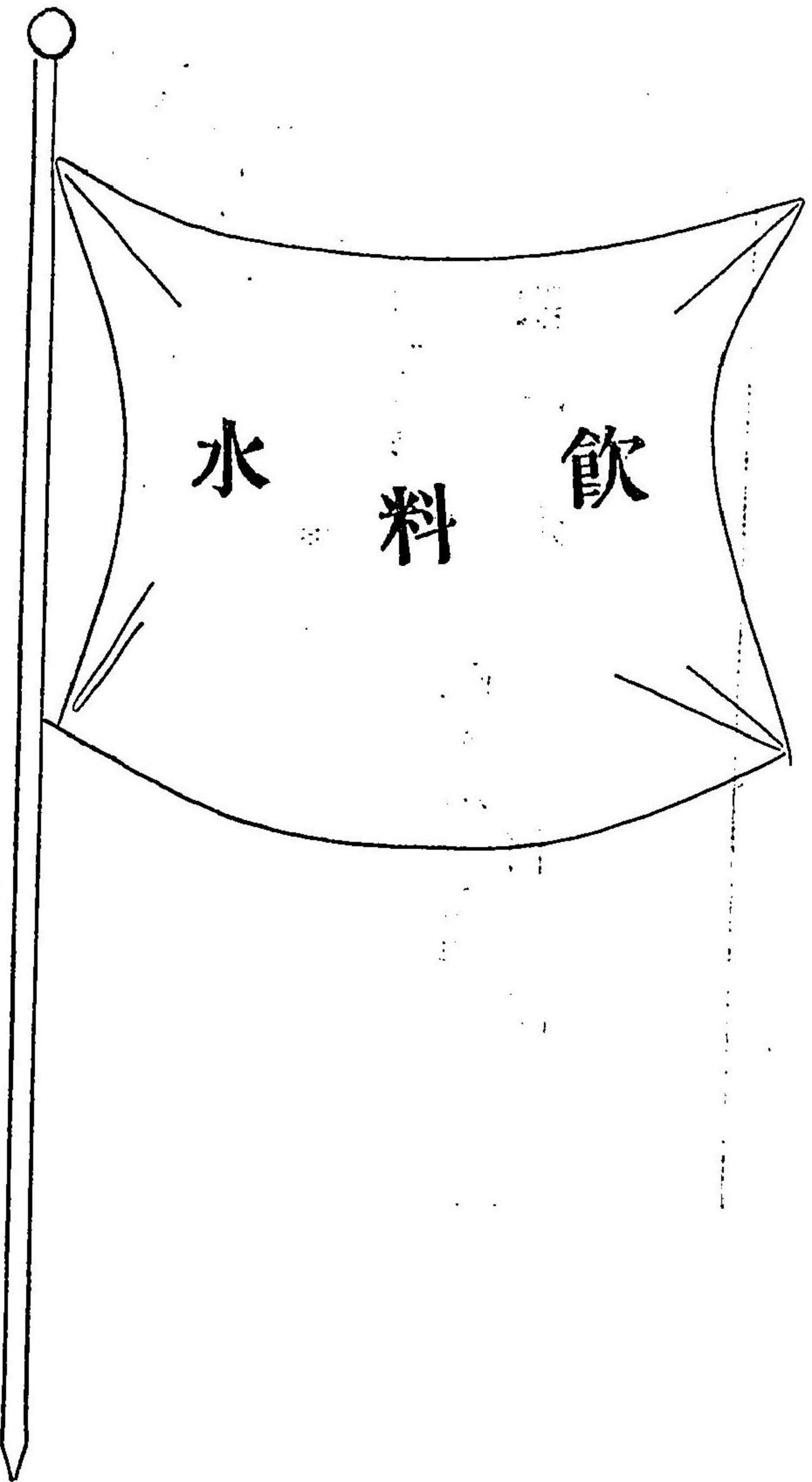
何郡何町何番地

飲料水

何 誰

標旗

△衛生○飲料水營業取締規則并冰雪營業取締規則中挿入ノ事



備考

一 標札ハ木材ヲ以テ長壹尺五寸巾五寸ニ調製スヘシ
 一 標旗ハ綿布ヲ以テ縱二尺横三尺ニ調製スヘシ

現行

●明治十八年三月五日甲第十四號

明治十七年(十二月)當府甲第八十七號布達水雪營業取締規則中第一條水凍ヲ製造ノ下
 (天然凝氷モ包含ス)ノ割註並ニ毎年ノ下(十月三十一日限)ノ八字及第三條該場ヲノ下
 「貸借シ若クハ」ノ六字ヲ挿入ス 右布達候事

醫務

醫術開業試驗志願ニ係ル達及醫師傳染病者届出
 並取扱規則中追加

現行

●明治十八年六月十九日示第百廿六號達

醫術開業試驗志願人ノ内病氣或ハ事故等ニテ試驗難相受モノハ取消願又ハ願書却下願
 等差出來候處以後右等ノ者ハ出願ニ及ハス届書ニ通當廳へ差出スヘシ 右告示候事
 ●明治十八年十二月二十日甲第百六號布達

現行

明治十五年(八月)當府甲第八拾四號布達醫師傳染病者届出并取扱規則中第一號及第二

△衛生○醫術開業試驗志願ニ係ル達及醫師傳染病者届出並取扱規則中追加(下三百八十九)

號屆書式欄外ニ左ノ備考ヲ追加ス
天然痘患者ハ氏名ノ上ニ未痘者又ハ初種再三種濟ノ區別ヲ明記スヘシ
右布達候事

開業醫規則中改正ノ件

●明治十八年十月二日甲第八拾九號布達
●明治十六年甲第五十四號布達中第拾三號種痘人員月表式別紙ノ通改正ス
右布達候事
(別紙)
第拾三號種痘人員月表書式

明治何年 何月中 種痘人員月表

何々國何々區何々町村何十番地住或ハ寄留 種痘醫 氏 名 印

種痘者居住之 國郡區町村名

感 否

初

一 未 一 年 二 年 三 年 四 年 五 年 以上 未 滿 未 滿 未 滿 未 滿 未 滿 未 滿 未 滿

一 小 計

再三種

合

計

何國何郡區町村	善 感	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人
何國何郡區町村	不 善 感	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人
何國何郡區町村	善 感	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人
何國何郡區町村	不 善 感	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人
○何府縣何國何郡區町村	善 感	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人
○何府縣何國何郡區町村	不 善 感	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人
合 計	善 感															
計	不 善 感															

○他府縣管内ヨリ來テ種痘ヲ乞フ者ヲ記入ス

●明治十八年十一月二十一日甲第七號布達

明治十六年(八月)當府甲第五十四號布達開業醫規則第六條中第九項ノ次ヘ左ノ一項ヲ追加シ第十項以下順次操下ク

十 變痘患者ヲ診斷シタルキハ其住所氏名年齡職業等ヲ詳記シ其時々速ニ届出ツル

右布達候事

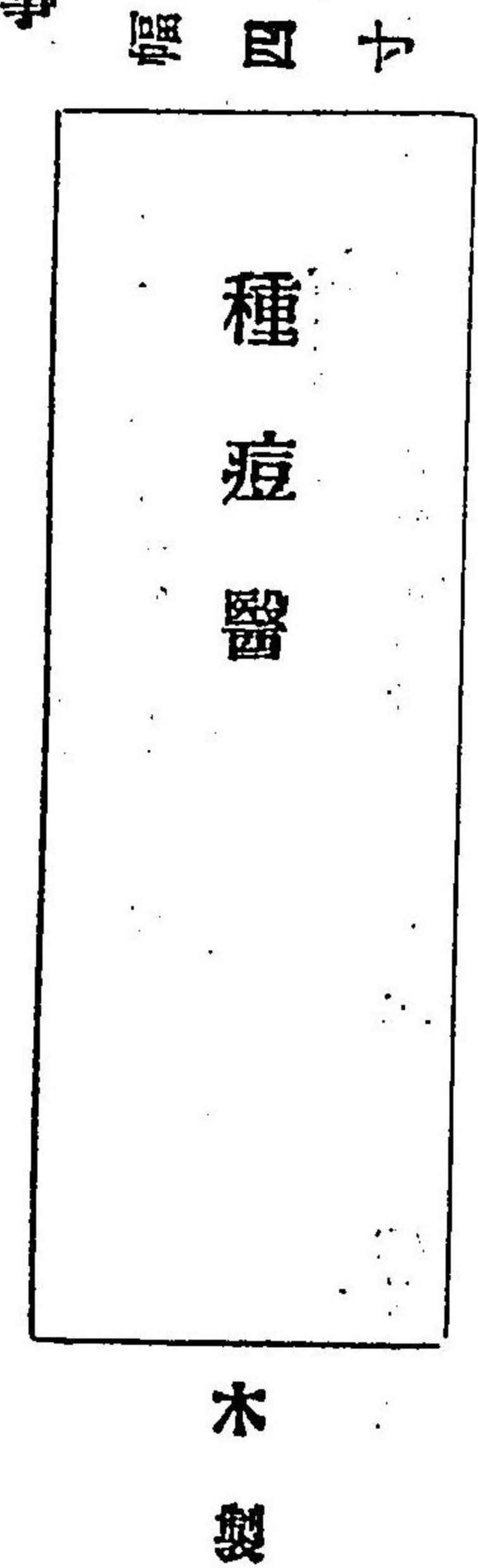
●明治十八年十二月廿八日甲第二百二十三號布達

明治十六年八月當府甲第五十四號布達開業醫規則中左ノ通改正及刪除ス

△衛生○開業醫規則中改正ノ件

第六號中第九項ヲ削除シ第十項以下順次繰上ク
第七條ヲ左ノ通改正

第七號種痘術ヲ爲ス醫師ハ左ノ雛形ノ門標ヲ掲出スヘシ
長一尺



右布達候事

種痘施術心得書 並種痘規則及該規則實施手續

現行

●明治十八年六月九日論第八號
明治十六年^六當府論第七號告諭傳染病豫防心得書附錄トシテ種痘施術心得書別冊ノ通
追加候條種痘術ヲ施ス者ハ本書ノ旨趣ヲ遵守シ接種方等厚ク注意スヘシ

右告諭候事

種痘施術心得書

種痘術ヲ施ス者ハ種痘ノ適否接種ノ方法痘苗採收及貯蓄ノ法善感不善感ノ鑑別種痘ノ
注意等ヲ詳知セサル可カラズ其要左ノ如シ

第一 種痘ノ適否

- 第一條 種痘ハ左ニ掲クル者ニハ施サ、ルヲ可トス
 - 壹 生後七十日ヲ經サル者
 - 貳 種痘ノ爲ニ一時増進スヘキ病患アル者
 - 三 丹毒流行ノ土地ニ居住スル者
 - 四 蔓延性ノ皮膚病アル者
 - 五 熱性病ニ罹リ居ル者
- 第二條 種痘ニ適スル時期ハ春(三月四月五月)秋(九月十月十一月)二季ヲ以テ最良トス
然レハ四季共ニ之ヲ施シテ妨ナシ

第二 接種ノ方法

- 第三條 種痘ヲ施スハ上膊^{三稜筋抵}止^{ノ部位}ニ於テ各々三針乃至五針^{受痘者ノ年齡}體質等ニ隨フ^{トシ}各針ノ距離
曲尺五分以上ニシテ痘疱ノ暈輪互ニ密接セサル様注意スヘシ
- 第四條 施術ニ先チ針尖ヲ拭淨シ一時ニ數人ニ接種スルキハ一人毎ニ之ヲ拭淨スヘシ

△衛生○種痘施術心得書並種痘規則中改正 種痘細則及該規則實施手續 下三百九十三

第五條 良性ナル痘漿ヲ採リテ移種スルヲ確實ノ良法トスレド此法ヲ行フ能ハサル
キハ貯蓄ノ痘苗ニ成ルヘク新鮮ナル者ヲ撰ヒ用フヘシ但痂皮ハ用ヒサルヲ可トス
第三 痘苗採収及貯蓄ノ法

第六條 痘苗ハ左ニ掲クル者ヨリ採収スヘカラス

一 痘疱ノ成形過度及過大ノ者 發暈非常ニ大ナル者 疱縁又ハ暈部ニ水泡ヲ生スル
者 痘疱非常ニ隆起シテ澄明ノ漿液ヲ漏出スル者 一種ノ疑フヘキ色例ヘハ紅藍
色ヲ呈セサルカ如キ者

但此等ノ異常疱ノ近傍ニ在ル正疱モ亦同シ

二 痘漿ノ血液ヲ混セル者 疱ノ中央ニ在ル痘漿ノ腐敗ニ向ハントスル者 痘疱ノ已
ニ化膿ニ傾キシ者 爬搔又ハ摩擦ノ爲ニ痘疱破潰セシ者

三 梅毒腺病及ヒ皮膚病ニ罹リ居ル者 營養不良ノ者

四 丹毒ヲ併發セル者 經過不整ニシテ不善感ノ疑アル者第十四條ヲ參照スヘシ

五 天然痘ヲ經タル者 再三種ノ者

第七條 痘漿ヲ採ルハ通常接種後第八日二十四時間ヲ以テ一日ト算ス以下皆同シヲ以テ佳トスト雖時候ノ寒

暖及各人ノ性質ニ隨ヒ第七日又ハ第九日ヲ以テ適度トスルヲアリ痘疱ハ善感良性ノ
者ニシテ含包セル所ノ漿液ハ渾濁セス粘稠露滴ノ如クナルヘシ

第八條 痘漿ヲ採ルニハ痘疱ノ中心ヲ避テ痘面ヨリ斜ニ淺刺シ深ク刺シテ出血セシメ

ヘカラス

第九條 發痘一顆ナル者ノ痘疱ハ其漿液ヲ採ル可カラス又數顆アルモ其一顆ハ傷クヘ
カラス

第十條 痘苗ヲ貯蓄シテ接種ノ用ニ供セントスルニハ硝子板間ニ貯ヘテ密封シ又ハ硝
子製毛細管ニ吸入セシメテ其兩端ヲ固封シ日光及寒熱ノ劇度ヲ避ケ貯フヘシ(痘苗
ノ貯蓄法甚宜シキヲ得ルキハ五箇月間充分ノ効力アリ)

第四 善感不善感ノ鑑別

第十一條 種痘ノ善感不善感ヲ鑑別スルニハ左ノ各項ヲ以テ要點ト爲ス

一 接種後第二日以内ニ成形ヲ始メシヤ否

二 痘疱常形ニシテ其大サ及硬サハ皮下上共ニ同一ナルヤ否

三 紅暈ハ常形ナルヤ否

四 經過整然トシテ其時期ヲ誤ラサルヤ否

五 第八日ニ至リテ微熱ヲ發スルヤ或ハ然ラサルモ其他ノ徵候ヲ呈スルヤ否

六 痂皮ハ黯褐色又ハ黑色ニシテ其厚サ及硬サハ常度ナルヤ否

第十二條 種痘善感ノ徵候ハ左ノ經過ニ就キテ知ルヘシ

接種後第一日第二日ノ間ハ他ノ刺傷ニ異ナルヲシテ施術後針痕ノ周圍ニ淡紅色ノ小
暈ヲ發スレド暫時ニシテ消失ス(或ハ此暈ヲ見サルヲアリ)

△衛生○種痘施術心得書并種痘規則中改正種痘細則及該規則實施手續 下三百九十五

第三日ニハ針痕ノ部ニ小ナル紅點ヲ生シ試ニ指頭ヲ以テ之ニ觸ルレハ稍々隆起セルヲ覺ユ(經過緩慢ナル者ハ第四日第五日ニ至リ始メテ此紅點ヲ生スルコト有リ)

第四日ニハ紅色ニシテ硬ク且ツ隆起セル圓形若クハ橢圓形ノ小結節ヲ生ス

第五日ニハ結節細小ノ水泡トナリ其周圍ニ狹キ紅暈ヲ見ル

第六日ニハ水泡稍々増大シ其邊縁隆起シテ泡ノ中央ニハ陷凹ヲ呈シ泡中ニハ稀薄透明ニシテ稍々帶藍色ナル液ヲ充實シ周圍ノ紅暈稍々増大ス

第七日ニハ諸症益々増進ス

第八日ニハ痘疱全ク成形ス其大サハ豆大ニシテ周圍ハ焮腫シ微シク疼痛アリ泡中ノ液ハ倍々充實シ紅暈モ亦著シク増大ス此期ニ當リ(或ハ此期以前微熱ヲ發シ或ハ全ク熱候ナク顔面ハ蒼白色ヲ呈スルコトアリ又腋下ニ疼痛ヲ覺エ水腺腫起スルコト有リ)

第九日ニハ紅暈更ニ増大シ其色澤モ亦加ル

第十日ニハ泡液化膿シテ白濁或ハ黃色ノ濃稠液ト爲リ泡ノ中央稍々凸隆ス然レモ其形必ス扁圓ナリ

第十二日ニ至ル迄ハ痘疱其形狀ヲ變スルコト無ク此日ヨリ収斂ヲ始メ泡ノ中央ヨリ邊縁ニ向ヒテ次第ニ乾固シ漸ク褐色ニ變シ周圍ノ紅暈モ亦漸ク消退ス

爾後黝褐色又ハ黑色ニシテ堅實ナル厚痂ヲ結ヒ初メハ皮膚ニ緊著シテ容易ニ剝離セズ結痂後八日乃至十日ニ至リ始テ剝脫ス其剝脫ノ後ニ遺セル痂痕ハ圓形又ハ橢圓形ニ

ノ淺キ凹窩ヲ爲シ其窩内ニハ更ニ數多ノ小凹點ヲ呈ス

但一回種痘セシ者ニ再三種シテ感染スルコトアルモ其痘顆小ニシテ七八日間ニ全ク經過スルコト常トス

第十三條 種痘不善感ノ諸徴ハ左ノ如シ

- 一 接種後第二日以内ニ成形ヲ始メ常形ニ達セズ直ニ廣ク蔓延セル炎症ヲ發シ皮下ニ硬キヲ覺ヘスノ紅暈ハ不整形ナリ痘疱ハ速ニ化膿シ其隆起ノ狀或ハ半球形或ハ圓錐形ト爲リ乾固スレハ黃色ニシテ鬆疎ナル痂皮ヲ結フ(時トシテ第二日後ニ成形ヲ始ムル者アレモ其經過總テ不整ナルヲ以テ自ラ善感ノ者ト區別スルコト得ヘシ又不善感ノ者ト雖モ液下ニ疼痛ヲ覺エ微熱ヲ發スルコト無キニ非ス)
 - 二 接種後第一日ニ大ナル赤色ノ泡ヲ生シ速ニ漿液ヲ充實シ上皮破レテ膿面ヲ呈シ或ハ濕潤セル淡色ノ痂皮ト爲ルコト見ル
 - 三 紅暈速ニ増大シテ腫起シ或ハ遂ニ潰瘍ニ陥ル
 - 四 第八日ニ至リ數泡相合シテ一大潰瘍ト爲リ或ハ一面ノ痂皮ヲ結ヒ其潰瘍又ハ痂皮ノ周圍ニハ廣ク赤色ヲ呈ス
 - 五 痂皮剝脫ノ後ニ遺セル痂痕ハ深クシテ不整形ヲ呈シ其底面平滑ナリ
- 第五 種痘ノ注意

第十四條 初種ノ不善感ハ痘苗ノ不良ナルカ或ハ其人一時ノ不感性ヲ有セルニ因ル者

△衛生○種痘施術心得書并種痘規則中改正種痘細則及該規則實施手續 下三百九十七